



5分で始められる SaaS型監視ツール

簡単、無料試用、超低価格。だから、失敗しない。

プランと価格を見る
無料または2,000円/月から

国内累計
3,400
サインアップ突破



オールインワン！もちろん、必要なところだけ使えます。

Site24x7 スタートアップガイド

Ver1.4

2023年 9月 13日

発行

■ 著作権について

本ガイドの著作権は、ゾーホージャパン株式会社が所有しています。

■ 注意事項

このガイドの内容は、改良のため、予告なく変更することがあります。

ゾーホージャパン株式会社はこのガイドに関しての一切の責任を負いかねます。当社はこのガイドを使用することにより引き起こされた偶発的もしくは間接的な損害についても責任を負いかねます。

■ 商標一覧

記載の会社名、ロゴ、製品名の固有名詞は各社の商号、商標または登録商標です。

なお、本ガイドでは、(R)、TM 表記を省略しています。

目次

1	はじめに.....	1
1.1	スタートアップガイドについて.....	1
1.2	対象読者.....	1
1.3	本ガイドの見方.....	1
1.4	Site24x7使用上の注意点.....	1
1.5	プランについて.....	1
2	アクティベート.....	1
2.1	システム要件.....	2
2.2	アクティベート.....	2
3	アカウント情報とライセンス情報の確認.....	2
3.1	アカウント情報の確認.....	2
3.2	ライセンス情報の確認.....	4
4	各画面の説明.....	5
4.1	ログイン画面.....	5
4.2	[ホーム] タブ.....	6
4.3	[Web] タブ.....	7
4.4	[サーバー] タブ.....	8
4.5	[Cloud] タブ.....	8
4.6	[ネットワーク] タブ.....	13
4.7	[NetFlow] タブ.....	13
4.8	[NCM] タブ.....	13
4.9	[APM] タブ.....	14
4.10	[アラート] タブ.....	15
4.11	[レポート] タブ.....	15

4.12	[アプリケーション] タブ	16
4.13	[管理] タブ.....	16
5	監視の登録	17
5.1	監視の登録	17
5.2	Webサイト監視の登録	17
5.2.1	Webサイト監視の登録.....	17
5.2.2	Webトランザクション (リアルブラウザ)の登録	19
5.2.3	Webサイトの改ざん	22
5.2.4	SSL/TLS証明書監視	24
5.2.5	DNS監視	26
5.3	サーバー監視の登録	28
5.4	Cloud監視の登録.....	35
5.5	APMインサイト監視の登録.....	42
5.6	ネットワーク監視の登録	47
6	障害管理の設定	48
6.1	ロケーションのプロファイル	48
6.2	しきい値および可用性	50
6.3	通知プロファイル	50
6.4	メールテンプレート	51
7	レポートの設定	52
7.1	レポートの作成方法	52
7.2	スケジュールレポート	53
8	その他	54
8.1	ユーザーの追加	54
8.2	ユーザーアラートグループの追加	55

1 はじめに

1.1 スタートアップガイドについて

本ガイドの特長は次のとおりです。

- ・ Site24x7のアクティベーション方法や設定方法について説明しています。
評価期間中や導入構築時、運用開始時に利用しやすい資料となっています。

1.2 対象読者

本ガイドは、Site24x7を導入するシステム管理者やシステムインテグレーターを対象としています。

1.3 本ガイドの見方

本ガイドでは文字の書体を以下のように使い分けています。

字体または記号	説明	例
AaBbCc123	ファイル名、ディレクトリ名、画面上の出力等を示します。	ManageEngine_Site24x7 Manager.exeを実行してください。
AaBbCc123	画像名として、画像の下部に記載しています。	各画像の下部を参照してください。
<i>AaBbCc123</i>	変数を示します。実際に使用する特定の名前または値で置き換えます。	Site24x7_Home/bin
『』	参照する章、節を示します。	『1 はじめに』を参照してください。
[]	ボタンやメニュー名、強調する単語を示します。	[ホーム] タブ画面

1.4 Site24x7 使用上の注意点

- ・ 監視対象登録後、IP アドレスの変更は推奨しておりません。
- ・ 日本語（マルチバイト）の扱いについて
 - Site24x7は、一部、日本語の入力に対応しておりません。
対応していない部分につきましては、半角英数字をご利用ください。

1.5 プランについて

Site24x7（日本版）では現在7種類のプランをご用意しております。

詳しくは下記のページを参照ください。

<https://www.site24x7.jp/pricing.html>

2 アクティベート

Site24x7は Web サーバー、アプリケーションサーバー、データベースサーバーなど、監視サービスに必要なミドルウェアを意識せずに利用することができます。そのため、設定作業は、Web サーバーやデータベースサーバーの専門知識を必要としません。

2.1 システム要件

Site24x7のシステム要件（ブラウザ要件）は次の表のとおりです。

ウェブブラウザ	<p>Google Chrome 最新版</p> <p>Ulaa 最新版</p> <p>Mozilla Firefox 最新版および延長サポート版（ESR）</p> <p>Microsoft Edge 直近から2つの最新版</p> <p>Safari 直近から2つの最新版</p>
---------	--

2.2 アクティベート

Site24x7にインストールは必要ありません。



サインアップ画面

- (1) 下記URLからサインアップを行います。
<https://www.site24x7.jp/signup.html>
- (2) サインアップ完了後、Site24x7のページから利用を開始できます。
Site24x7サイトからログインをして利用を開始してください。

3 アカウント情報とライセンス情報の確認

3.1 アカウント情報の確認

(1) 画面右上のユーザーアイコンから [マイアカウント] を選択します。



アカウント情報確認

(2) マイアカウントのページから個人設定、アカウント設定、組織情報が確認できます。各項目で確認できるものは以下の通りです。

個人設定

- ・ ユーザー名
- ・ 電子メールアドレス
- ・ Site24x7のロール | StatusIQのロール | CloudSpendのロール
- ・ 組織のロール
- ・ 許可されたグループ
- ・ Webクライアント言語

アカウント設定

- ・ Site24x7プラン | ステータスページプラン | CloudSpendプラン
- ・ アカウント連絡先
- ・ 業界
- ・ 国
- ・ 言語
- ・ レポートのタイムゾーン
- ・ レポートの時間のフォーマット
- ・ ランディングページ

組織情報

- ・ 組織名
- ・ 組織のスーパー管理者

マイアカウント 🔍 検索情報

個人設定



Site24x7のロール: スーパー管理者 | StatusIQロール: ステータスページスーパー管理者 | CloudSpendロール: コスト管理者
組織のロール: スーパー管理者
許可されたグループ: 全グループ

[プロフィールの編集](#) | [メールアドレスの変更](#) | [パスワードの変更](#) | [権限要素認証の有効化](#) | [IPアドレス制限](#)

Webクライアント言語 🇯🇵 日本語

アカウント設定

Site24x7プラン エンタープライズバック サブスクリプションの表示

ステータスページプラン GREEN/バック サブスクリプションの表示

CloudSpendプラン 無料版/バック

アカウント連絡先

業界 IT・ソフトウェア

国 日本

言語 🇯🇵 日本語

レポートのタイムゾーン (GMT 9:00) Japan

レポートの時間のフォーマット 12時間 24時間

ランディングページ デフォルトのホームページ
[ランディングページ編集を強化しました。詳細はこちら](#)
[Site24x7アカウントを解約する](#)

組織情報

組織名 ZOHQJapan Demo

組織のスーパー管理者 japan@site24x7.com

[組織名の変更](#) | [すべてのユーザーの表示](#) | [二段階認証の有効化](#) | [IPアドレス制限](#) | [要求DPA](#)

Site24x7 is a service by  Corp. Site24x7はシングルサインオンのサービス、Zoho Accountsを使用しています。

マイアカウント

3.2 ライセンス情報の確認

- (1) 画面右上のユーザーアイコンから [サブスクリプション] を選択します。
または [管理] タブから [サブスクリプション] をクリックします。
※マイアカウントのプランからでもご確認いただけます。



マイアカウント情報確認

- (2) サブスクリプションから確認できる項目は以下の通りです。
 - 有効期限日
 - プランサマリー

- ・プラン
- ・監視の合計
- ・アドバンス監視
- ・RUMページビュー
- ・ネットワークインターフェース
- ・NetFlow Analyzerインターフェース
- ・アプリケーションログ
- ・アラートクレジット

アドオンサマリー

- ・500ベーシック監視の追加購入
- ・25アドバンス監視の追加購入
- ・5百万RUMページビューの追加購入
- ・1,000インターフェースの追加購入
- ・10 GBログの追加購入
- ・1 TBログアドオン
- ・250 Kベーシック追加チェック
- ・10 Kアドバンス追加チェック

使用状況サマリー

- ・監視の合計
- ・ベーシック監視
- ・アドバンス監視
- ・RUMページビュー
- ・ネットワークインターフェース、NetFlowインターフェース
- ・NCM機器
- ・アラートクレジット
- ・アプリケーションログ容量
- ・ベーシック追加チェック、アドバンス追加チェック

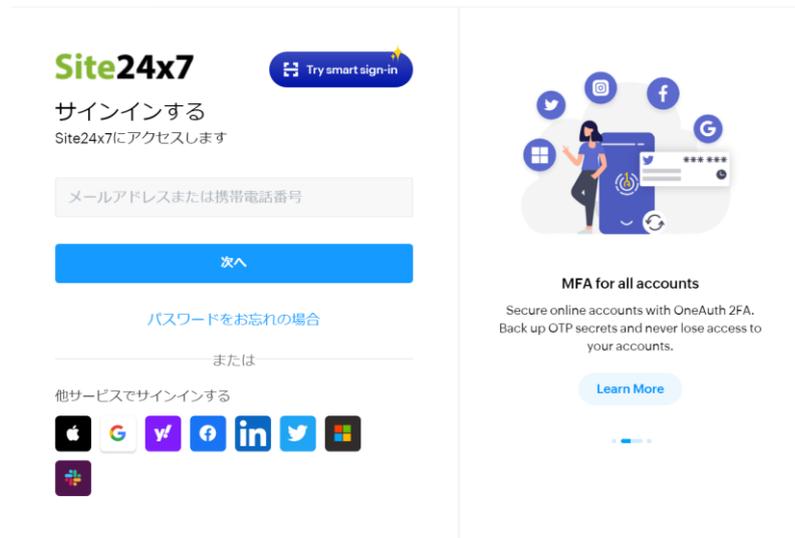
4 各画面の説明

この章では、ログイン画面の操作方法やログイン後の画面に配置されている各タブについて紹介します。

4.1 ログイン画面

Site24x7にアクセスした際に表示されるログイン画面です。

Site24x7に登録いただいた、メールアドレス/電話番号とパスワードを入力してください。



ログイン画面

※パスワードを忘れた場合は、[パスワードをお忘れの場合] から、新しいパスワードを発行し、登録したメールにお知らせします（メールの送信には、[管理] タブよりメールサーバーの設定が必須となります）。



初回ログイン時の画面

※初回ログイン時には、上記画面が表示されます。

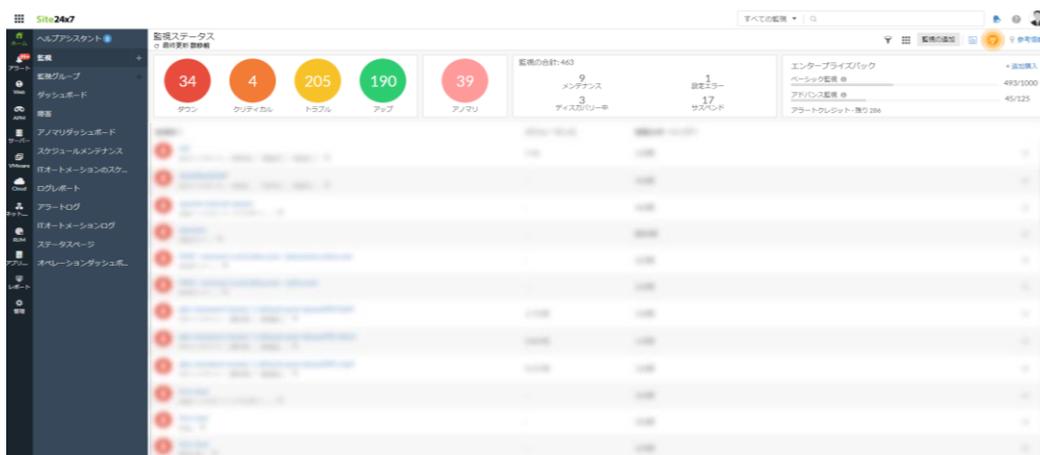
各監視の説明とその監視設定画面へのリンクボタンが記載されています。

4.2 [ホーム] タブ

デフォルトでは監視のステータスが表示される画面です。他にもアラートログやアノマリダッシュボード等を表示できます。

[ホーム] タブ内から確認できる項目は以下の通りです。

- ・ヘルプアシスタント
- ・監視
- ・監視グループ
- ・ダッシュボード
- ・障害
- ・アノマリダッシュボード
- ・スケジュールメンテナンス
- ・ITオートメーションのスケジュール
- ・ログレポート
- ・アラートログ
- ・ITオートメーションログ
- ・ステータスページ
- ・オペレーションダッシュボード



[ホーム] タブ

4.3 [Web] タブ

現在監視しているWebサイトの監視状況を表示します。最短1分間隔で、Webサイトの可用性を持続的に監視することができます。

[Web] タブから確認できる項目は以下の通りです。

- ・Webサイト
- ・Webページスピード (ブラウザ)
- ・DNSサーバー
- ・ポート (カスタムプロトコル)
- ・POPサーバー
- ・SMTPサーバー
- ・SSL/TLS証明書

- Webサイトの改ざん
- Webトランザクション（リアルブラウザー）
- ISPレイテンシー監視

[Web] タブ内のその他監視項目は、次のページを参照してください。

<https://www.site24x7.jp/help/internet-service-metrics.html>



[Web] タブ

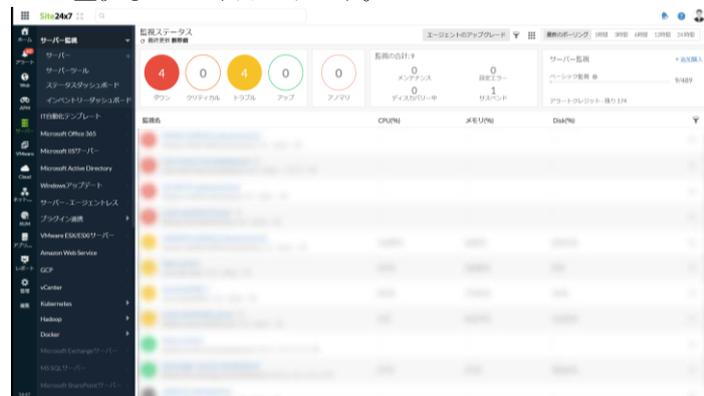
※応答時間は、次の内訳で色分けされて表示されます。

- DNS 時間
- 接続時間
- SSLハンドシェイク時間
- 先頭バイト時間
- ダウンロード時間

4.4 [サーバー] タブ

監視しているサーバーの状況を表示します。

サーバー監視の他に、そのサーバー内で稼働しているアプリケーションやプラグイン連携によるミドルウェアサービスの監視もここに表示されます。



[サーバー] タブ

4.5 [Cloud] タブ

[Cloud] タブでAmazon Web Services、Microsoft Azure、Google Cloud Platformのクラウドサービス監視を表示します。

このドキュメントではAmazon Web Servicesを例に記載いたします。

(1) AWS監視の追加

AWS監視の追加は、[IAM ロールで登録]、[アクセスキーで登録]で行います。

※上記の他に、次の方法で、アカウント連携を行えます。

[CloudFormationで登録] : <https://www.site24x7.jp/help/aws/aws-iam-role-cloudformation.html>

[Control Towerで登録] : <https://www.site24x7.jp/help/aws/aws-control-tower.html>



Amazonアカウントの統合

(2) 全アカウント

登録したAWSアカウントの表示名が表示されます。

(3) AWSアカウント

登録したAWSアカウントの表示名をクリックすると、そのAWSの下記①～⑩の項目を表示します。

① サービスビュー

監視しているAWSサービス数が、アイコンとして表示されます。

各アイコンをクリックすることで、そのサービスの監視リストへ移動します。



サービスビュー

② インベントリダッシュボード

このダッシュボードでは監視しているAWSリソースがダウンしているか、稼働しているかをまとめて表示します。



インベントリーダッシュボード

③ インフラストラクチャーダッシュボード

すべてのAWS監視の状況を一画面で確認できます。



インフラストラクチャーダッシュボード

④ ガイダンスレポート

各AWSサービスの管理状況について、可用性、料金、セキュリティの観点からベストプラクティスを表示します。



ガイダンスレポート

⑤ 障害

監視しているAWSアカウントで発生している障害を一覧で表示します。

⑥ アノマリダッシュボード

アノマリ検知機能を使用して、過去の収集データからベースラインを設けて、そこからどれだけ乖離しているかを確認できます。

AWSサービスのパフォーマンスの異常値を検出し、障害発生前に対応を行うことができます。

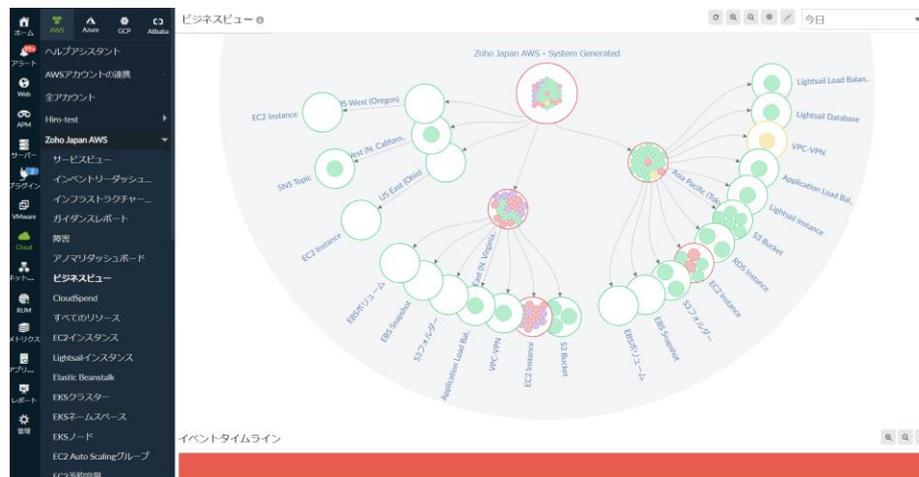


アノマリダッシュボード

⑦ ビジネスビュー

AWSアカウント内のサービス構造をツリー状に表示します。

各サービスはステータスごとに色分けされており、障害の影響がどこまで及んでいるのかを瞬時に把握できます。



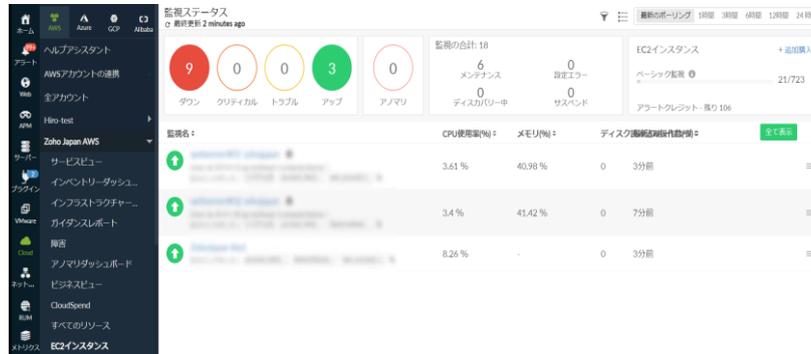
ビジネスビュー

⑧ 全てのリソース

アカウント内にあるすべてのサービスの監視リストを表示します。

⑨ EC2インスタンス

監視のリソース使用量およびEC2インスタンスのパフォーマンスを表示します。各監視名をクリックすると詳細画面に移ります。



EC2インスタンス

⑩ RDSインスタンス

ネットワークスループット、各DBインスタンスの読み取り/書き込みのワークロード、データベース接続のパフォーマンスまで監視します。各監視名をクリックすると詳細画面に移ります。



RDSインスタンス

⑪ DynamoDBテーブル

各DynamoDBテーブルのレイテンシー、要求スループット、およびスロットルに関するメトリックを収集し、リソース使用率を最適化します。

⑫ クラシックロードバランサー

要求数や待ち時間など、インジケータの収集、追跡、アラート通知を表示します。

⑬ アプリケーションロードバランサー

トラフィック、アクティブな接続、接続速度などの重要なメトリックを分析して、アプリケーション ELBノードのパフォーマンスを表示します。

⑭ SNSトピック

要求数や待ち時間など、インジケータの収集、追跡、アラート通知を表示します。

⑮ Lambda関数

Lambda関数のパフォーマンスを表示します。

⑩ その他サービス

その他複数のサービスにも対応しています。

4.6 [ネットワーク] タブ

現在監視しているネットワーク状況を表示します。SNMPを使用したネットワークデバイス（ルーター、スイッチ、ファイアウォールなど）の自動検出や重要なネットワークリソースのパフォーマンスの監視が可能です。



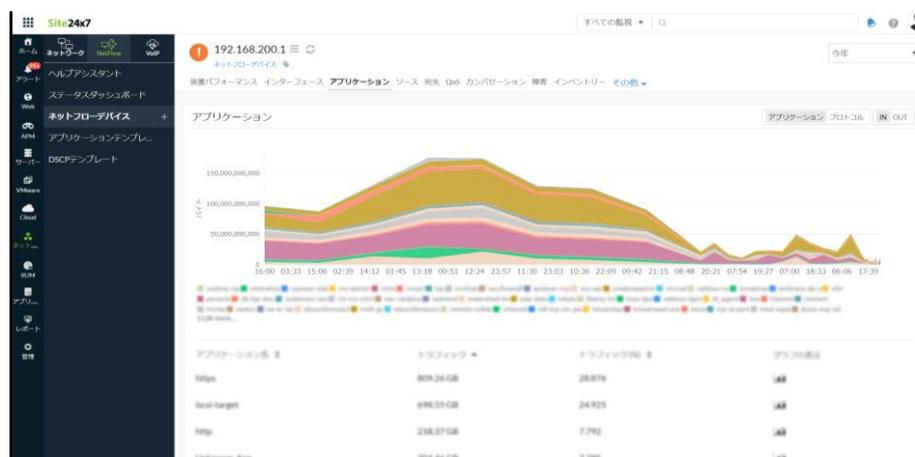
[ネットワーク] タブ

4.7 [NetFlow] タブ

NetFlowを機器から出力し、オンプレミスポラーがそれを取得すると、送信元、宛先、アプリケーション、会話レベルでトラフィックと帯域のデータが表示されます。

対応しているFlowはNetFlow、Jflow、sFlow、IPFIX、NetStream、AppFlow、CFlowです。

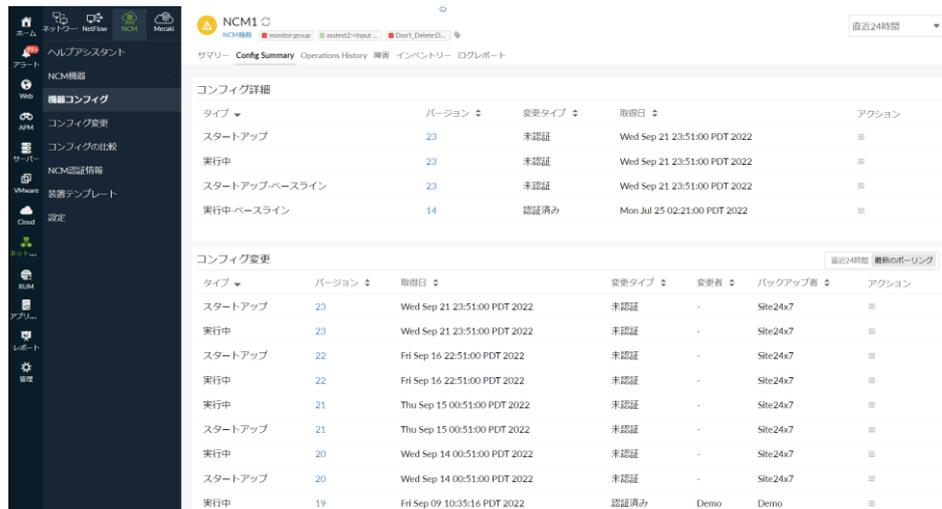
[NetFlow] タブは [ネットワーク] タブをクリック後、右側の黒背景リストに表示されます。



[NetFlow] タブ

4.8 [NCM] タブ

ネットワーク機器のコンフィグ情報を監視します。
 変更の追跡、バックアップの取得、コンフィグバージョン間の比較などが可能です。
 [NCM] タブは [ネットワーク] タブをクリック後、右側の黒背景リストに表示されます。

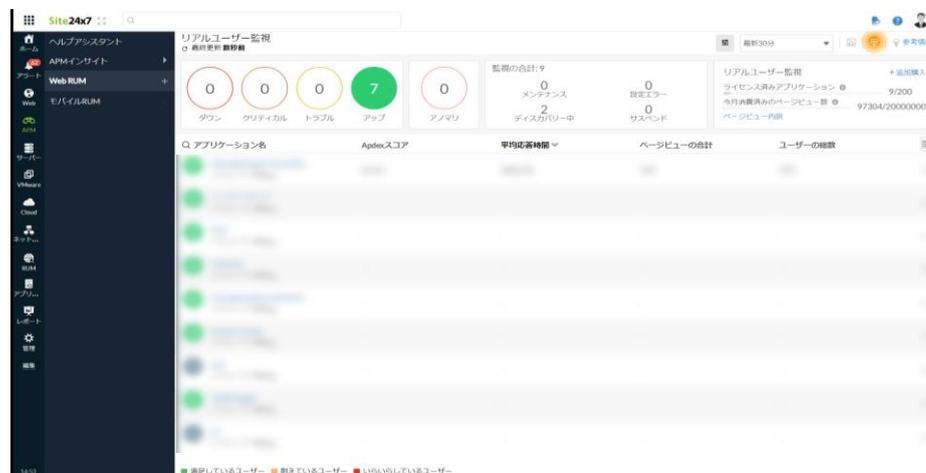


[NCM] タブ

4.9 [APM] タブ

(1) APMインサイト

Webトランザクションの応答時間、スループット、Apdex、トレース、コンポーネント、エラー、例外などを監視し、アプリケーションのパフォーマンスを監視します。



APMインサイト

(2) Web RUM

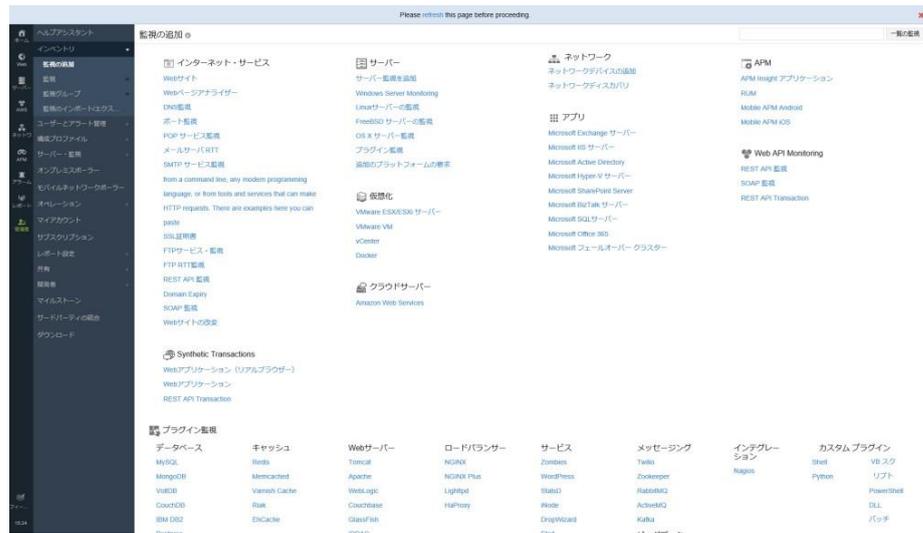
世界中のエンドユーザーが体感しているアプリケーションのパフォーマンスを表示します。
 この機能には、[RUM] タブからもアクセス可能です。

(3) モバイルRUM

モバイルアプリで発生したトランザクションのデバイスタイプ、キャリアタイプ、地理的ロケーションのスループット、応答時間などのパフォーマンスを監視します。
 次のモバイルOSの監視に対応しています。

4.13 「管理」タブ

ユーザーや監視の追加、その他各種設定を行えます。



「管理」タブ

5 監視の登録

装置およびアプリケーションをSite24x7で監視するための監視登録を行います。

5.1 監視の登録

- (1) [管理] タブの [監視の追加] または各タブの [+] をクリックします。
- (2) [管理] タブの [監視の追加] から登録する場合、追加したい装置またはアプリケーションのタイプを選択します。
- (3) 選択した監視タイプごとの入力項目に必要な事項を入力し、[保存] ボタンをクリックします。監視登録に必要な項目は、各監視タイプにより異なります。

5.2 Webサイト監視の登録

5.2.1 Webサイト監視の登録

- (1) Webサイト監視追加の際に必要な情報は、主に以下のとおりです。

- ・表示名*
- ・WebページURL*
- ・チェック間隔*
- ・監視ロケーション*

以下設定プロファイルの項目です。

- ・しきい値と可用性*
- ・通知プロファイル*

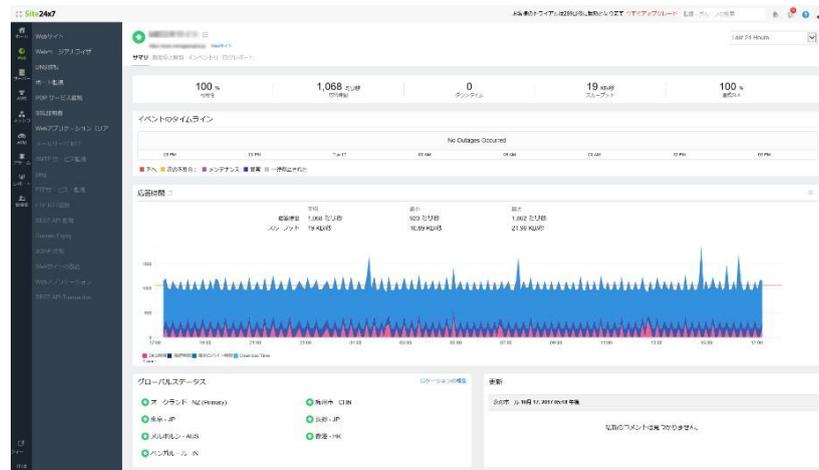
*入力必須項目です。

またユーザーアラートグループまたはオンコールスケジュールのいずれかは設定が必要です。

Webサイト監視追加画面

- (2) 登録したWebサイトの監視ページに移動します。

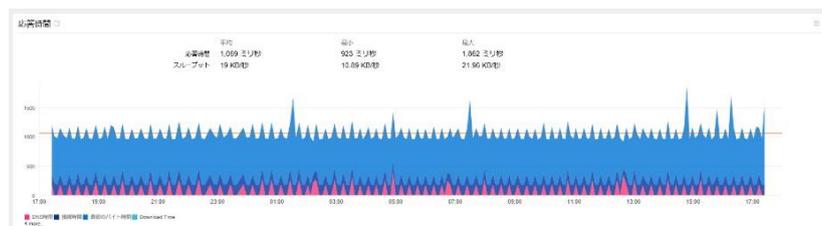
Webサイト監視ページに移動するには、[Web] タブ→ [Webサイト] から対象のWebサイト監視名をクリックします。その他、[ホーム] タブの監視のステータス内の監視名をクリックして表示します。



Webサイト監視詳細画面

① Webサイトの応答時間

監視ロケーションで設定した世界各地のサーバーからWebサイトへの応答時間を計測します。



Webサイト応答時間

※応答時間の内訳は●DNS時間●接続時間●SSLハンドシェイク時間●先頭バイト到達時間●ダウンロード時間です。

② ロケーションごとの可用性および応答時間

設定したロケーションごとの可用性と応答時間を表示します。ロケーション、可用性、ダウン継続時間、ダウン、直近のダウン、応答時間（ミリ秒）を表示します。

ロケーション	可用性 (%)	ダウン継続時間	ダウンタイム	最後のダウンタイム	応答時間(ミリ秒)
オークランド-NZ	100	0分0秒	0	-	1043
メルボルン-AUS	100	0分0秒	0	-	979
東京-JP	100	0分0秒	0	-	527
香港-HK	100	0分0秒	0	-	617
杭州-CN	100	0分0秒	0	-	2514
東京-JP	100	0分0秒	0	-	459
ハンガール-IN	100	0分0秒	0	-	471

ロケーションごとの可用性および応答時間

※応答時間の内訳は●DNS時間●接続時間●SSLハンドシェイク時間●先頭バイト到達時間●ダウンロード時間です。

5.2.2 Webトランザクション (ブラウザ)の登録

(1) Webトランザクション (ブラウザ) 監視追加の際に必要な操作は以下の通りです。

- ① [レコーダーのインストール] をクリックします。

Webトランザクション(ブラウザ)監視の追加

トランザクションの記録 Seleniumスクリプトのインポート

ベースURL

アドバンスオプション >

機器タイプ デスクトップ モバイル タブ

[レコーダーのインストール](#)

メモ: トランザクションステップの記録にはレコーダー拡張機能を使用します。

Webトランザクション (ブラウザ) 監視追加画面

- ② 遷移したchromeウェブストアで [Chromeに追加] を選択します。
(例としてChrome版の場合を記載します)



レコーダーインストール手順

- ③ 確認ポップアップが表示されるので、[拡張機能の追加] を選択します。



レコーダーインストール手順

- ④ ブラウザーに表示された次の画像の赤枠で囲まれたアイコンを選択します。



レコーダーインストール手順

- ⑤ Webトランザクション（ブラウザ）監視の追加画面で、ベースURLの入力と機器タイプを選択した後、レコーディングを行う端末の [機器タイプ] を指定し、 [レコーディング開始] をクリックします。

トランザクションの記録 Seleniumスクリプトのインポート プロフェッショナルサービス

ベースURL

アドバンスオプション >

機器タイプ デスクトップ モバイル タブ

メモ: トランザクションステップの記録にはレコーダー拡張機能を使用します。

監視追加手順

- ⑥ レコーディング用のブラウザで、トランザクションを記録します。
- ⑦ 完了後、レコーディング用のブラウザを閉じ、監視追加画面右上の [Stop Recording] をクリックします。

Site24x7 Admin actions

Webトランザクションの追加 (リアルブラウザ) Stop Recording キャンセル 参考情報

記録したトランザクションステップ スクリプトダウンロード

1. Loading - https://www.manageengine.jp

2. click ADManager Plus - https://www.manageengine.jp/

監視設定

表示名

ベースURL

解像度

ページ読み込みタイムアウト secs

監視に使うブラウザを選択

チェック間隔

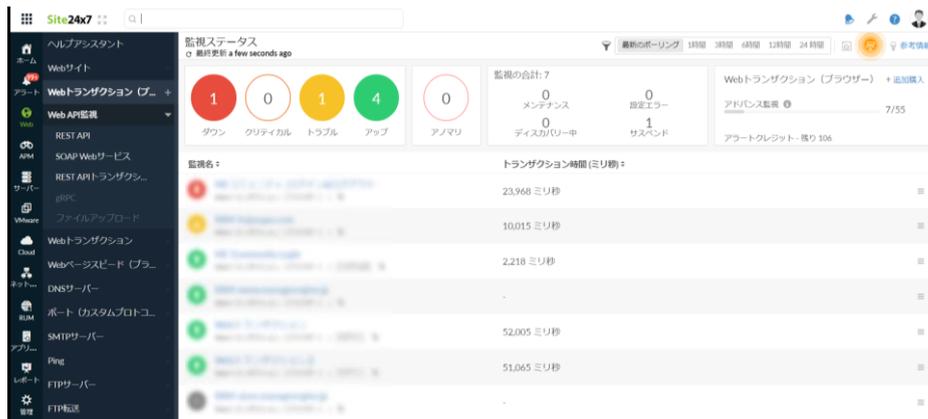
監視ロケーション

並行ポーリング

監視グループへの関連付け

監視追加手順

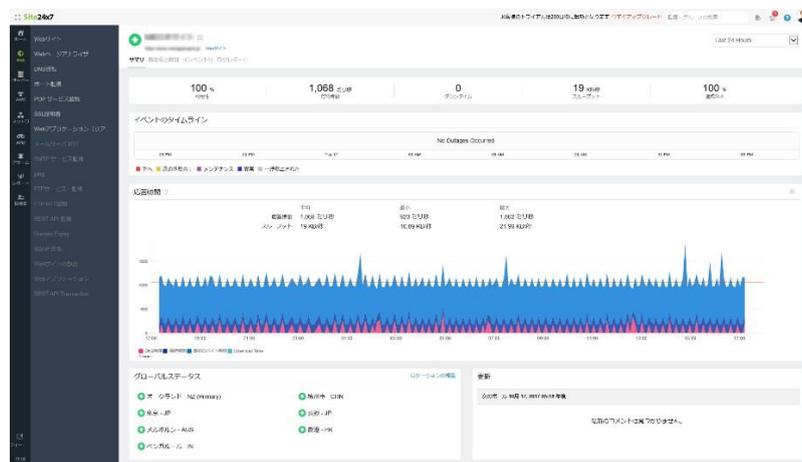
- ⑧ 同画面で各設定を指定後、 [監視の保存] をクリックします。



Webトランザクション監視画面

- (2) 登録したWebトランザクション (ブラウザ) 監視ページに移動します。

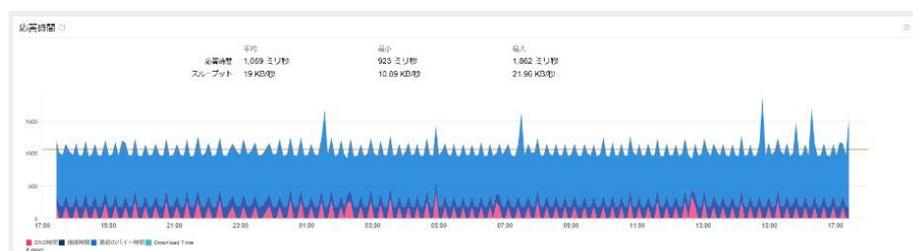
Webトランザクション (ブラウザ) 監視ページに移動するには、[Web] タブ→ [Webトランザクション (ブラウザ)] から対象の監視名をクリックします。また、[ホーム] タブの監視リストから対象の監視名をクリックして表示します。



Webトランザクション (リアルブラウザ) 監視詳細画面

トランザクション時間

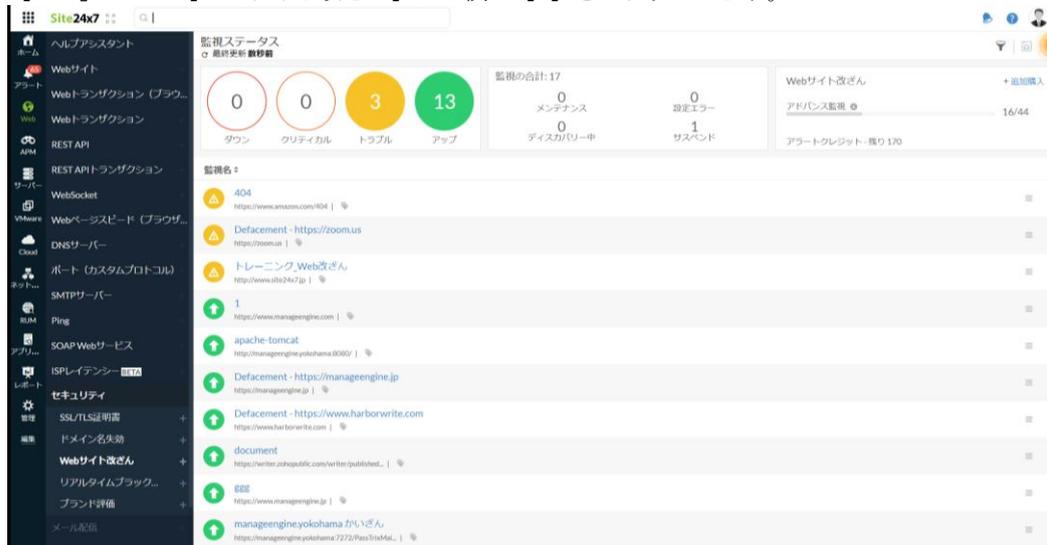
登録したトランザクションごとの応答時間を表示します。



トランザクション時間

5.2.3 Webサイトの改ざん

- (1) [Web] タブの [Webサイト改ざん] タブ横の [+] をクリックします。



Webサイト改ざん監視

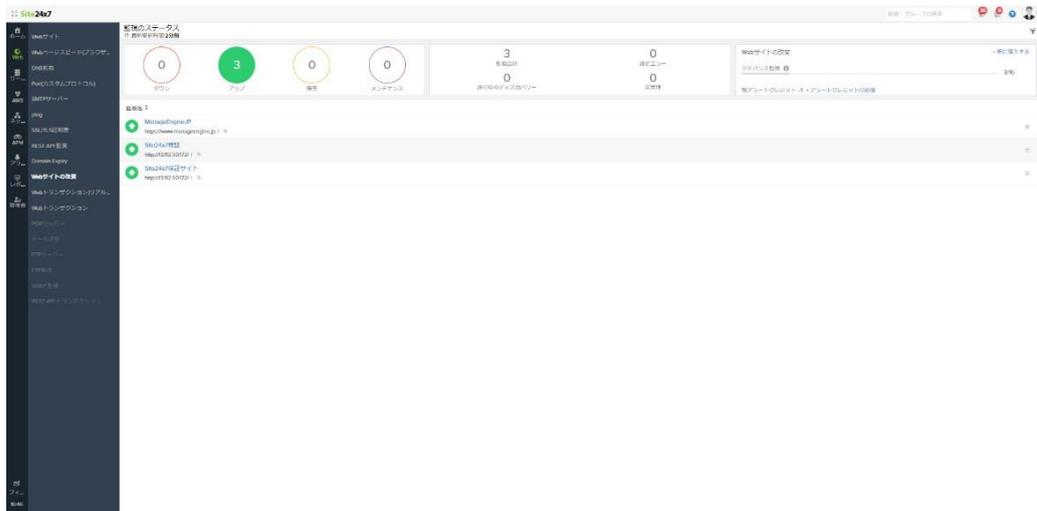
- (2) Webサイト改ざん監視を追加します（必須項目のみ解説）。

- ① 表示名：監視の名前を指定してください。
- ② ドメインURL：監視するドメインURLを指定します（HTTPまたはHTTPS）。
- ③ Defacement type：監視する改ざんのタイプを選択します。
- ④ チェック間隔：改ざんチェックを行う間隔を指定します。
- ⑤ 監視ロケーション：改ざんチェックを行うロケーションを選択します。監視はプライマリーロケーションからのみ行われます。
- ⑥ 通知プロファイル：障害発生時に通知を行うタイミングなどの条件を指定します。



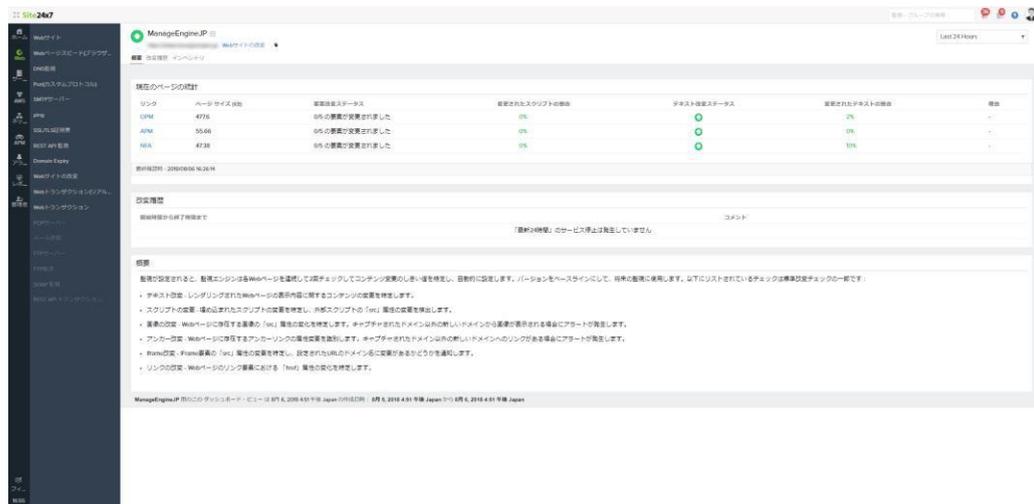
Webサイト改ざん監視の追加

- (3) [保存] をクリックします。
- (4) [Web] タブの [Webサイトの改ざん] タブから追加した監視を表示できます。



Webサイトの改ざん

[サマリー] タブ：現在のページの統計と改ざん履歴を参照できます。



[サマリー] タブ

[改ざん履歴] タブ：過去に発生した改ざんの履歴を表示できます。

[インベントリ] タブ：監視の設定内容を一覧で表示できます。

- (3) [保存] をクリックします。
- (4) [Web] タブの [SSL/TLS証明書] タブから追加された各SSL/TLS 証明書を監視できます。

証明書名	有効期限 (日数)	発行日	有効期限
SSL-123456789	3,281	2017/08/04	2022/08/02
SSL証明書テスト01	23	2017/02/09	2018/08/31
ME日本サイト	385	2018/05/29	2019/09/28
SSL-iplocation.zoho.com	293	2018/02/08	2019/05/29
SSL-managengine.jp	385	2018/05/29	2019/09/28
SSL-zoho.com	293	2018/02/08	2019/05/29
SSL証明書テスト02	357	2018/07/25	2019/07/31

SSL/TLS 証明書

サマリー：サーバー証明書と証明書チェーンを確認することができます。

サーバー証明書			
有効性	2023/01/23 9:00:00	発行先	www.zoho.co.jp
有効日	2024/02/23 8:59:59	共通名 (CN)	www.zoho.co.jp
失効日	175	Subject Alternative Name(SAN)	www.zoho.co.jp
失効までの日数	175	組織 (OI)	-
		組織単位 (OU)	-
発行元	Amazon RSA 2048 M01	SHA-1指紋	48E7F799EFD4A661C2B175F8E76183C441226
共通名 (CN)	Amazon	署名アルゴリズム	SHA256withRSA
組織 (OI)	-		
組織単位 (OU)	-		
証明書チェーン			
有効性	2023/08/24 7:21:28	発行先	Amazon RSA 2048 M01
有効日	2030/08/24 7:21:28	共通名 (CN)	Amazon
失効日	2030/08/24 7:21:28	組織 (OI)	-
		組織単位 (OU)	-
発行元	Amazon Root CA 1	SHA-1指紋	3AD174477973CB08DBF5AC3A4925FA8FB3FC
共通名 (CN)	Amazon		
組織 (OI)	-		
組織単位 (OU)	-		

サマリー

障害：開始時間から終了時間までを確認できます。また、機能がダウンしていると赤、障害が発生していると黄色またはオレンジで警告されます。

開始時刻から終了時刻まで	期間	コメント
2021/04/27 14:46:26 ~ 2021/04/28 14:46:26	1 日 0 時 0 分	The connection has timed out.

機能ダウン

サマリー 障害 インベントリー

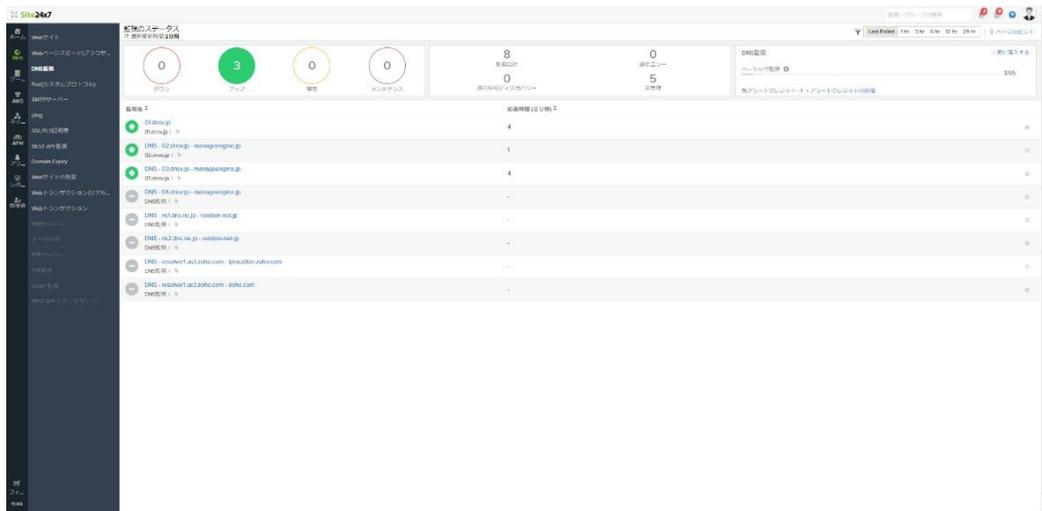
ダウン/トラブルの履歴			障害の追加	CSVでダウンロード
開始時刻から終了時刻まで	期間	コメント		
 2021/04/27 14:50:48 to 2021/04/28 14:50:48	1日0時間0分	証明書は29日以内に失効します		≡

機能障害

インベントリー：監視の設定内容を一覧で表示できます。

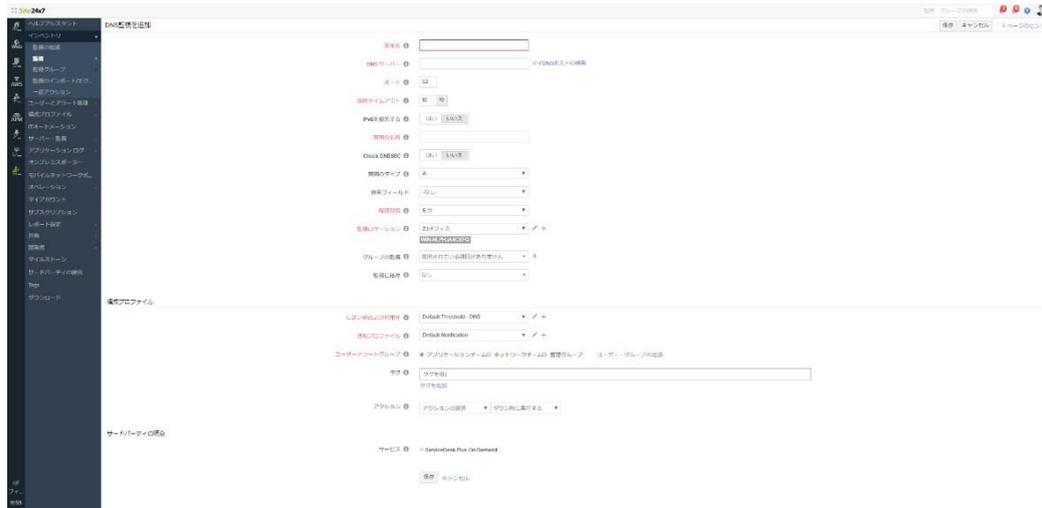
5.2.5 DNS 監視

- (1) [Web] タブの [DNSサーバー] タブ横の [+] をクリックします。



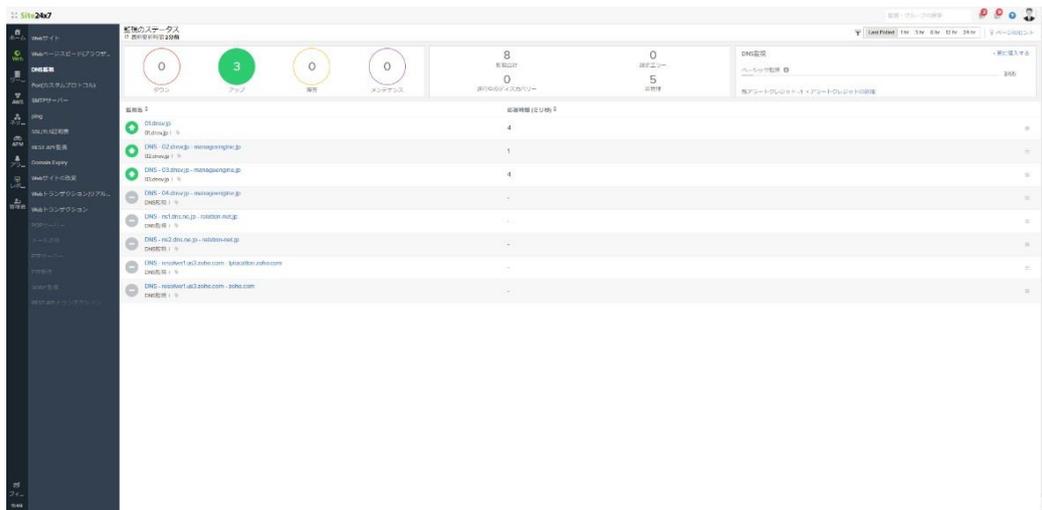
DNS監視

- (2) DNS監視を追加します（必須項目のみ解説）。
- ① 表示名：この監視をダッシュボードで識別するための名前を指定してください。
 - ② DNSサーバー：照会する DNS サーバーの IP アドレスまたはドメイン名を指定します。
 - ③ ポート：DNSサーバーが待機しているポートを指定します。
 - ④ 接続タイムアウト：この期間内に DNSサーバーとのソケット接続を確立する必要があります。
 - ⑤ 質問の名前：サーバーに照会するドメイン名を指定します。
 - ⑥ チェック間隔：この間隔で DNSサーバーが照会されます。
 - ⑦ 監視ロケーション：既存のロケーションプロファイルを選択するか、新規プロファイルを作成します。これにより、監視対象を監視するロケーションサーバーを指定します。
 - ⑧ しきい値と可用性：特定のリソースが重大またはダウンであるか判定する際の基準を設定します。また誤認アラートの削減するためのダウンタイムルールを設定することもできます。
 - ⑨ 通知プロファイル：通知プロファイルは、アラートが送信される際の調整に役立ちます。
 - ⑩ ユーザーアラートグループ：選択したグループのユーザーには、アラートが通知されます。通知媒体、期間、および通知可能なアラートの重大度は、[管理] → [ユーザーとアラートの管理] → [ユーザー&アラート] → [ユーザー名] → [アラート設定] で、各ユーザーに個別で設定できます。



DNS監視の追加

- (3) [保存] をします。
- (4) [Web] タブの [DNSサーバー] タブから追加したDNS監視を表示できます。



DNS監視

サマリー：イベントタイムライン、応答時間、グローバルステータス、ダウン/障害履歴、ロケーションごとの可用性および応答時間・ロケーションによる応答時間を確認できます。



サマリー

障害：過去に発生した障害情報を表示できます。

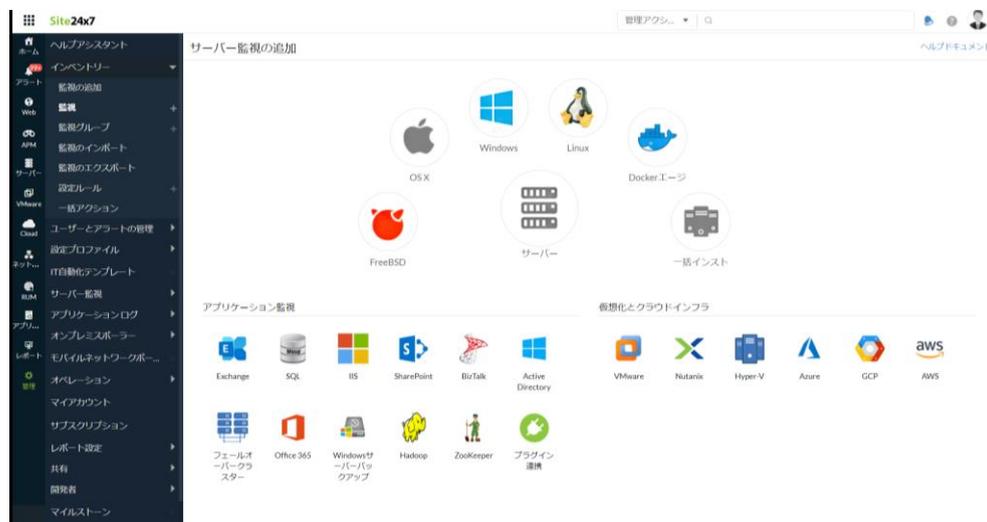
インベントリ：監視の設定内容を一覧で表示できます。

ログレポート：ポーリングごとの生データを表形式で表示します。

5.3 サーバー監視の登録

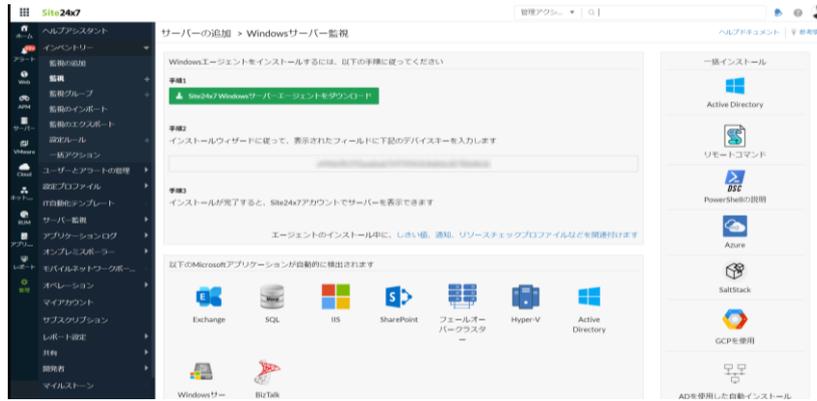
(1) 監視したいサーバーにエージェントをダウンロードします。

- ① [サーバー] タブの [サーバー] 横の [+] をクリックし、監視対象のサーバーの種類を選択します (例では Windowsサーバーを追加しています)。



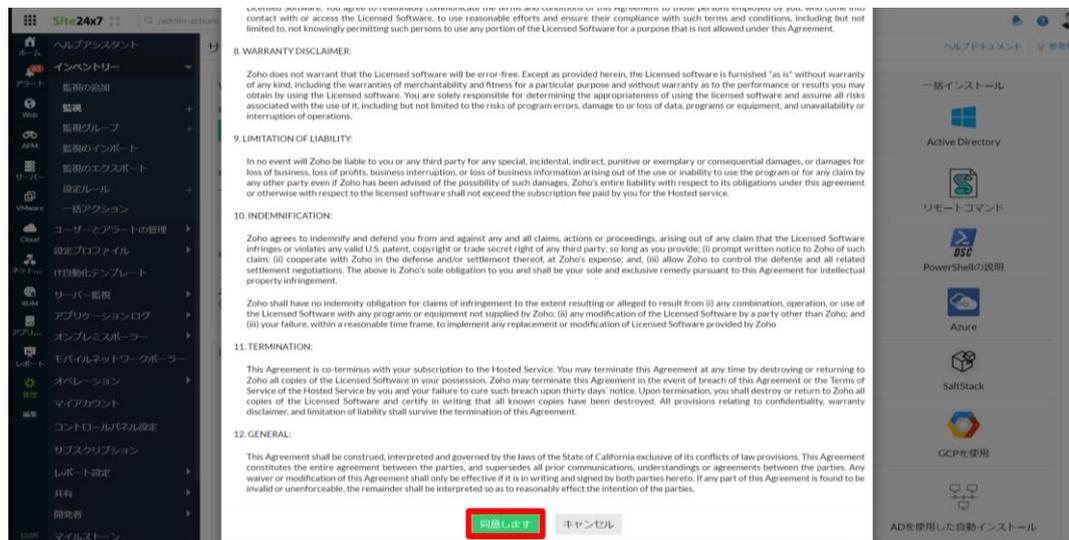
サーバー監視を追加

- ②  Site24x7 Windowsサーバーエージェントをダウンロード をクリックして、ダウンロードを開始します。



Windowsサーバー監視

- ③ 契約文が表示されます。確認して [同意します] をクリックします。



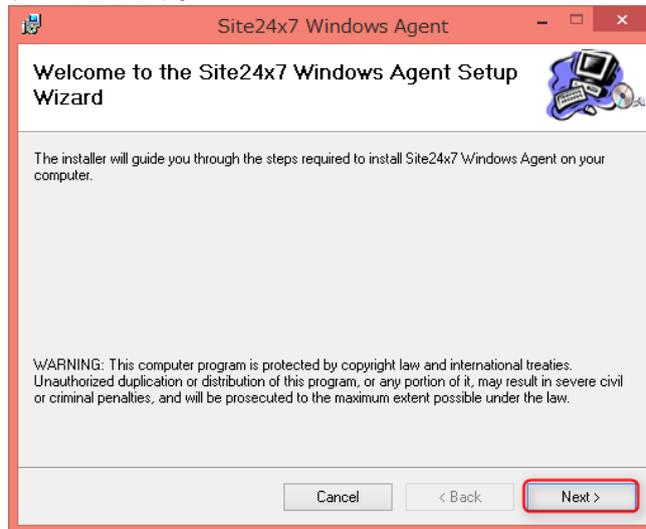
契約文

- ④ ダウンロードが完了すると下記ウィザードが表示されます。 [実行] をクリックします。



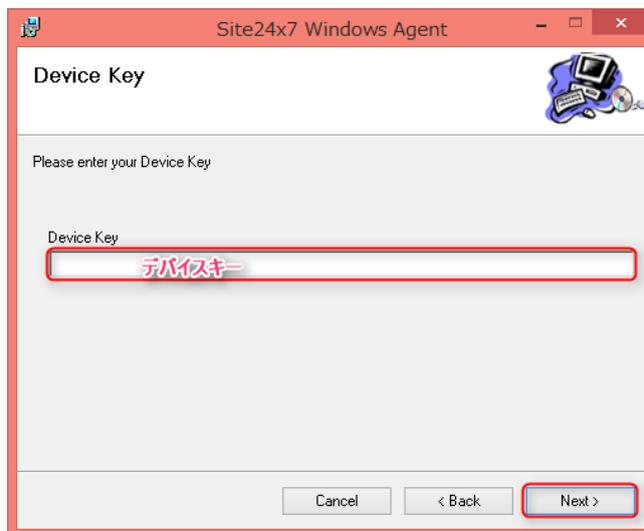
ダウンロードウィザード

- ⑤ ウィザードに従って進みます。



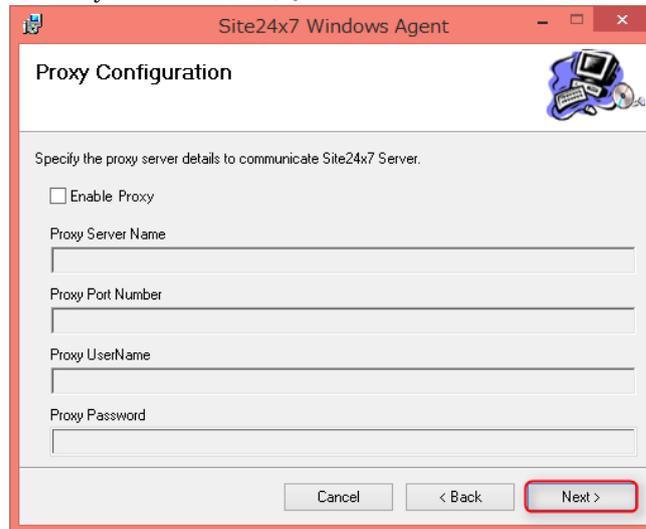
エージェントセットアップ ウィザード

- ⑥ デバイスキーを求められます。手順②の画面のデバイスキーを入力します。



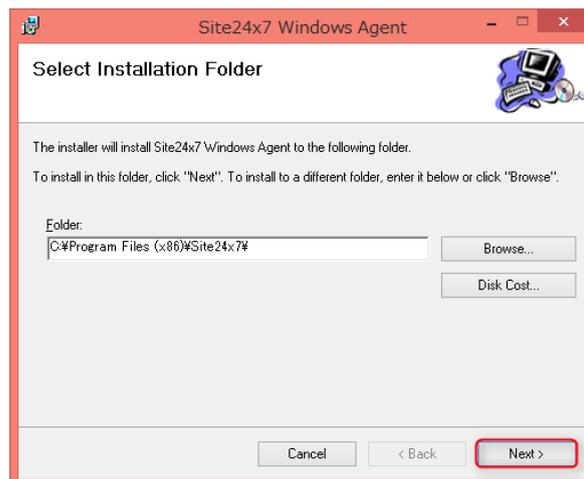
デバイスキー

- ⑦ プロキシサーバーがある場合は [Proxy Server Name] [Proxy Port Number] [Proxy User Name] [Proxy Password] を入力します。
ない場合は Enable Proxy に をつけます。



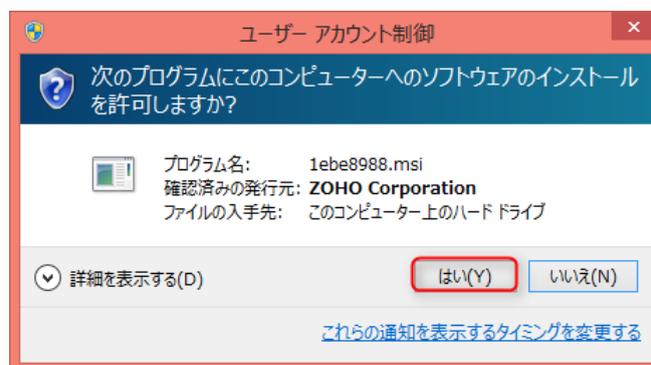
プロキシ設定

- ⑧ インストール先のフォルダーを設定します。図のインストール先はデフォルト値です。



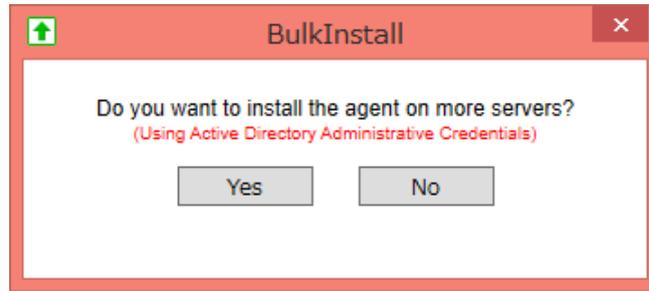
インストール先 設定

- ⑨ ウィザードに従って進みます。



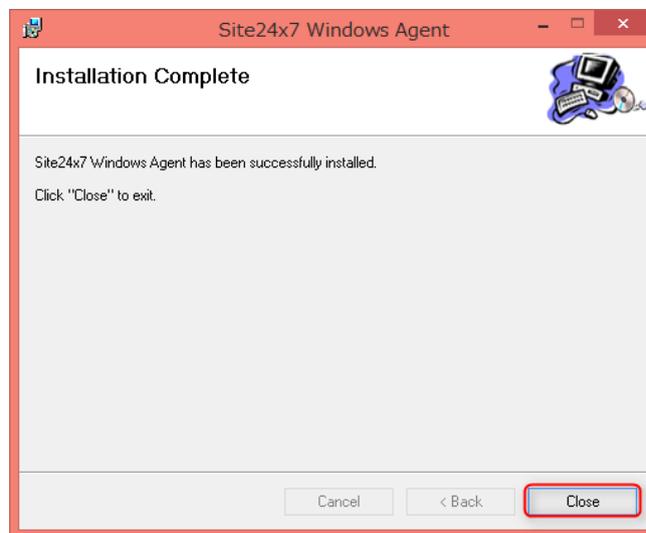
インストール許可

- ⑩ 他のサーバーにもエージェントをインストールする場合には、[Yes] を、必要ない場合は [No] を選択します。



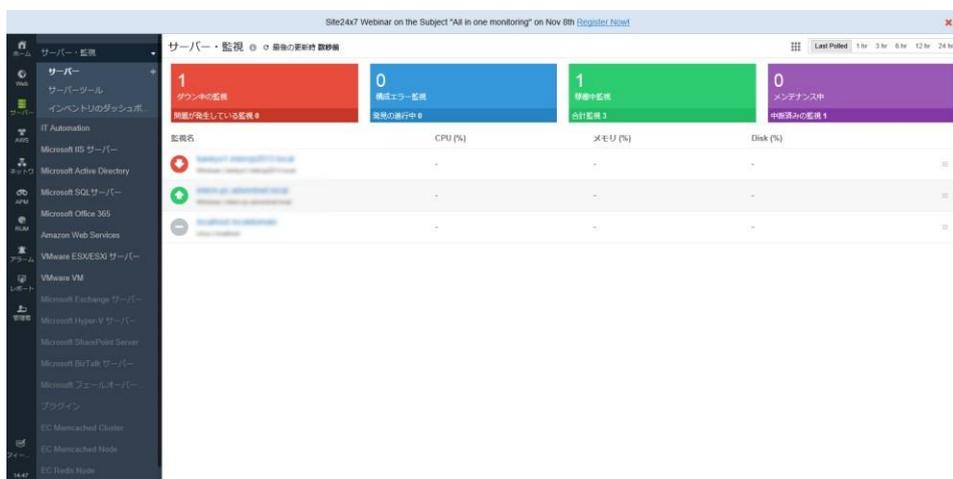
確認ポップアップ

- ⑪ 「Installation Complete」と表示されたらインストール完了です。[Close] をクリックしてください。



インストール完了

- ⑫ [サーバー] タブからエージェントをインストールしたサーバーが追加されているか確認します。



[サーバー] タブ

サーバー登録後に確認できる項目は以下の通りです。

① サマリー

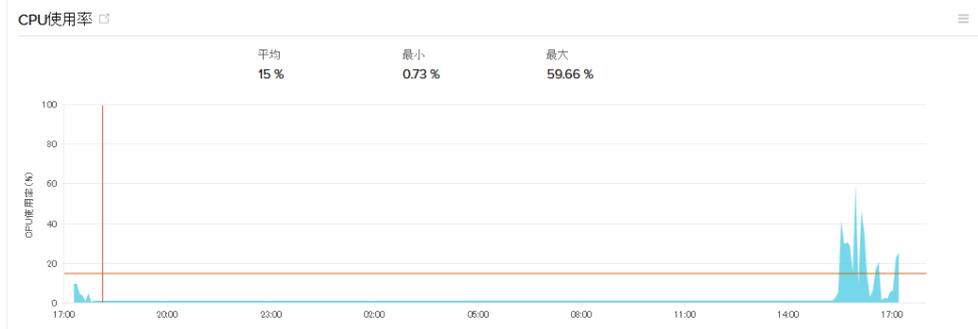
- ・ イベントタイムライン

イベントタイムライン



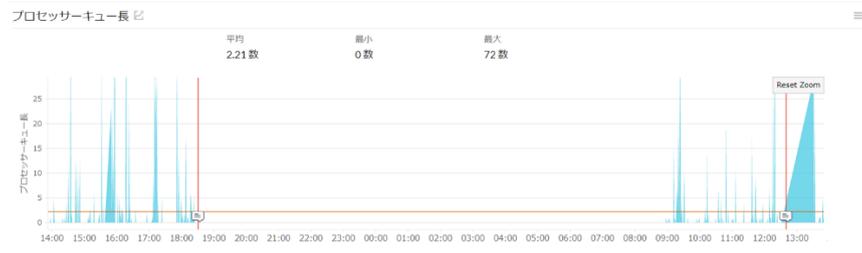
イベントタイムライン

- ・ CPU使用率 (%)



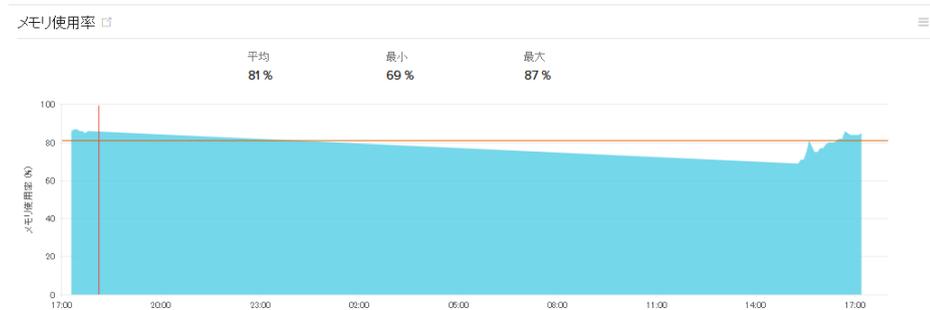
CPU使用率 (%)

- ・ プロセッサキュー長



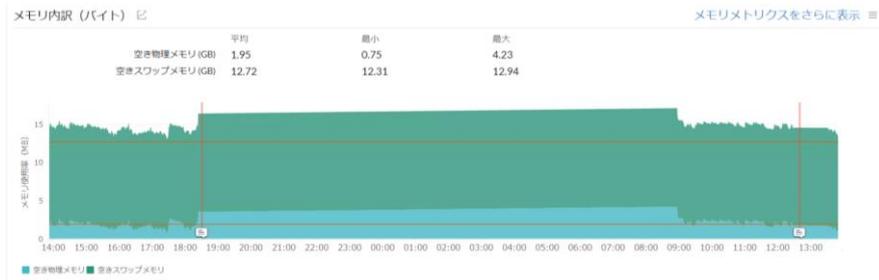
プロセッサキュー長

- ・ メモリ使用率



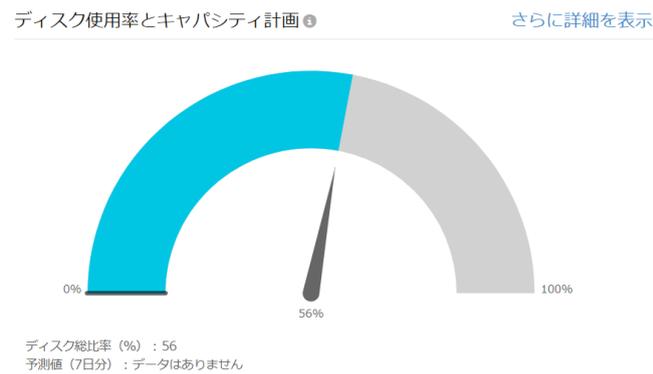
メモリ使用率

- ・ メモリ内訳 (バイト)



メモリ内訳 (バイト)

- ディスク使用率とキャパシティ計画



ディスク使用率とキャパシティ計画

- CPUごとの直近に取得されたトッププロセス

CPUごとの直近に取得されたトッププロセス CPU

プロセス名	CPU (%)
svchost.exe	0.56
XenGuestAgent.exe	0.19
MMQEngine	0.19
WinPrvSE.exe	0.19
WinPrvSE.exe	0.19

CPUごとの直近に取得されたトッププロセス

- 直近ポーリングのメモリごとのトッププロセス
- 最新イベント
- スナップショット
- アプリケーションの詳細
- 更新
- ダウン/トラブルの履歴

② サービスとプロセス

- ・プロセスのCPU使用率 (%)
- ・プロセスメモリ使用率 (%)
- ・Windowsサービス

その他の監視項目は次のページをご確認ください。

<https://www.site24x7.jp/help/server-metrics.html#performance-metrics>

5.4 Cloud監視の登録

本ガイドではAWS監視を例に解説します。

AWS監視追加は [IAMの役割に登録する] より行います。登録方法は次のとおりです。

(1) IAMロールで登録

- ① [Cloud] タブから [AWSアカウントの連携] 横の [+] をクリックします。
- ② [IAMロールで登録] タブを選択します。

(ここで①アカウントID、②外部ID、③ロールARN、④表示名とします)



[IAM ロールで登録] タブ

- ③ AWSにてロールを作成します。
AWSで [ロール] タブを選択し、 [ロール作成] をクリックします。



AWSロールタブ

- ④ [別のAWS アカウント] タブで、アカウントID（前述①のアカウントID）を入力し、[外部IDが必要（サードパーティーがこのロールを引き受ける場合のベストプラクティス）] をチェックします。



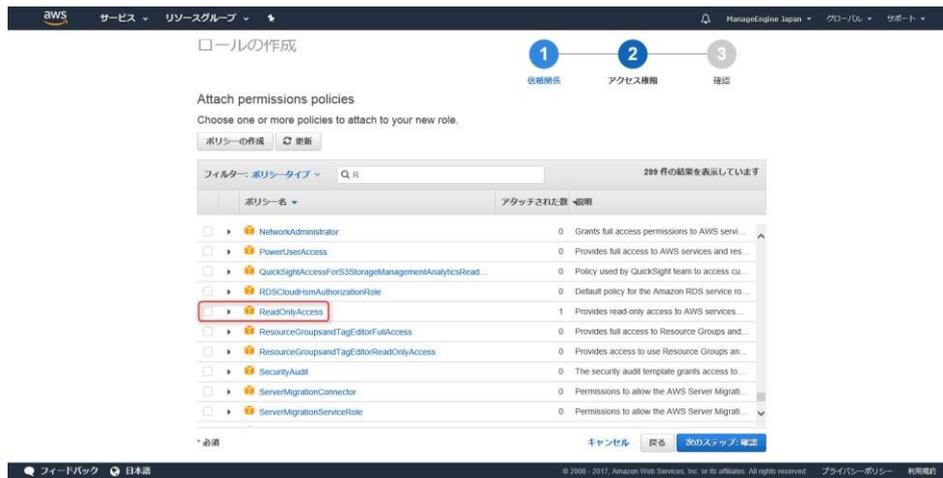
AWSロール作成

- ⑤ [外部 IDが必要（サードパーティーがこのロールを引き受ける場合のベストプラクティス）] にチェックを付けると外部キーの入力欄が表示されます（前述の②外部キーを入力）。その後、[次のステップ：アクセス権限] をクリックします。



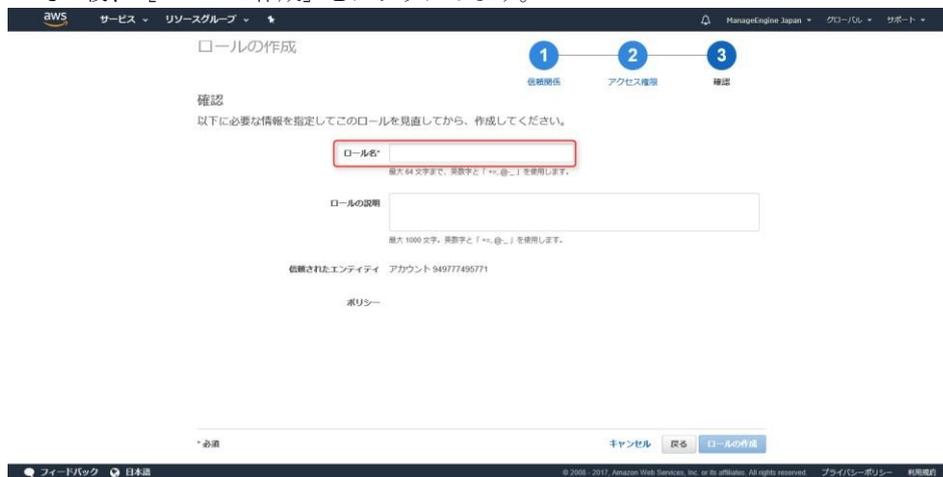
AWSロール作成

- ⑥ アクセス権限 [ReadOnlyAccess] を選択し、[次のステップ：確認] をクリックします。



AWSロール作成

- ⑦ ロール名を入力します。これはダッシュボード等に反映される名前です。その後、[ロールの作成]をクリックします。



AWSロール作成

- ⑧ Site24x7に戻り、前述③ロールARNにAWSで生成したロールARNを入力します。



AWSロール概要



Site24x7 [IAMロールで登録]

⑨ その他項目設定をして、[AWSリソースのディスカバリー] をクリックします。



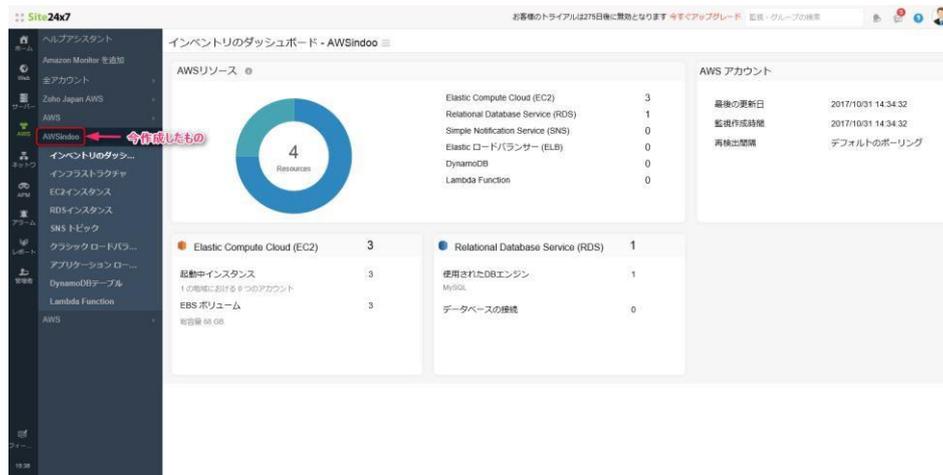
AWS監視追加画面

⑩ ディスカバリーの完了までしばらく時間を置きます。



待機画面

- ① リソースディスカバリーが完了すると、[AWS] タブで検出したAWSアカウントが反映されます。
本例では、前述④表示名でAWSIndooという名前で追加しています。



[AWS] タブ

IAMロールでの登録の他に、アクセスキー、CloudFormation、Control Towerを用いて登録を行えます。詳細は各リンクをご確認ください。

アクセスキー：<https://www.site24x7.jp/help/aws/enable-aws-account-access.html#iam-key-access>

CloudFormation：<https://www.site24x7.jp/help/aws/aws-iam-role-cloudformation.html>

Control Tower：<https://www.site24x7.jp/help/aws/aws-control-tower.html>

AWS監視では、様々なAWSサービスを監視することができます。

各AWSサービスの監視画面へは、AWSアカウント連携後、[AWS] → [サービスビュー] → [サービス名] → [監視名] よりご確認ください。

本ガイドではEC2インスタンスならびにRDSインスタンスを例に記載します。

EC2インスタンス監視の [サマリー] タブで確認できる項目は以下の通りです。

① EC2インスタンス

- ・ イベントタイムライン

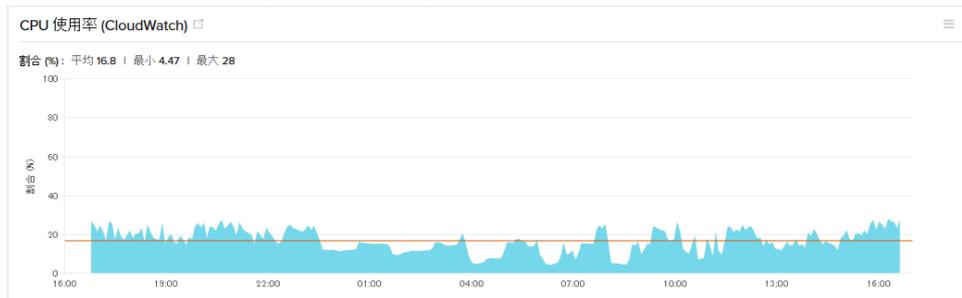


- ・ ステータスチェック

ステータスチェック				
最終変更日	サービス状態	システム状態	インスタンスステータス	イベント
2017/11/06 1:13:13	Running	ステータス: OK Reachability: Passed	ステータス: OK Reachability: Passed	-

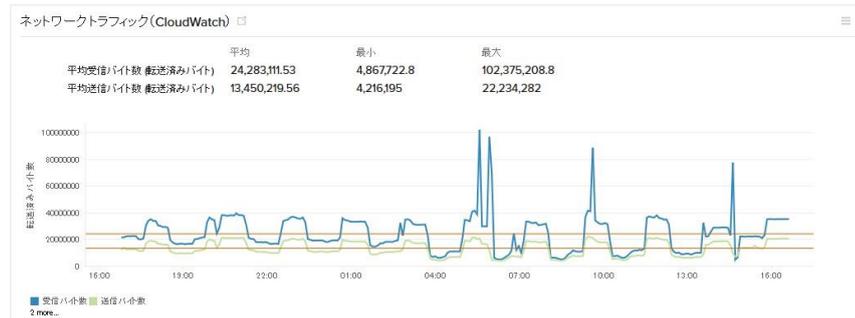
ステータスチェック

- CPU使用率 (CloudWatch)



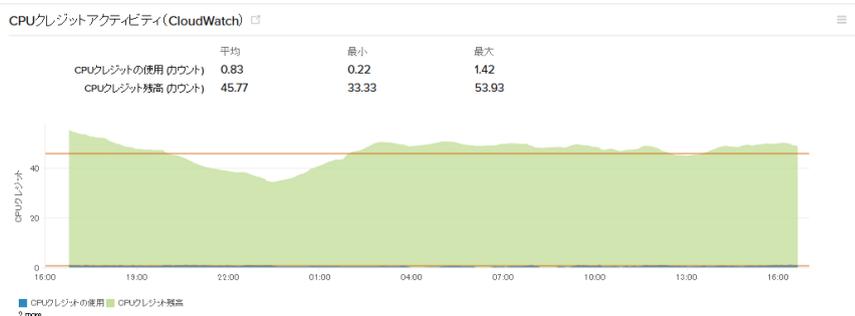
CPU使用率(CloudWatch)

- ネットワークトラフィック (CloudWatch)



ネットワークトラフィック (CloudWatch)

- ネットワークパケットアクティビティ (CloudWatch)
- CPUクレジットアクティビティ (CloudWatch)



CPUクレジットアクティビティ (CloudWatch)

- 更新

- ダウン/障害履歴

その他の監視項目は次のページをご確認ください。

<https://www.site24x7.jp/help/aws/ec2-integration.html>

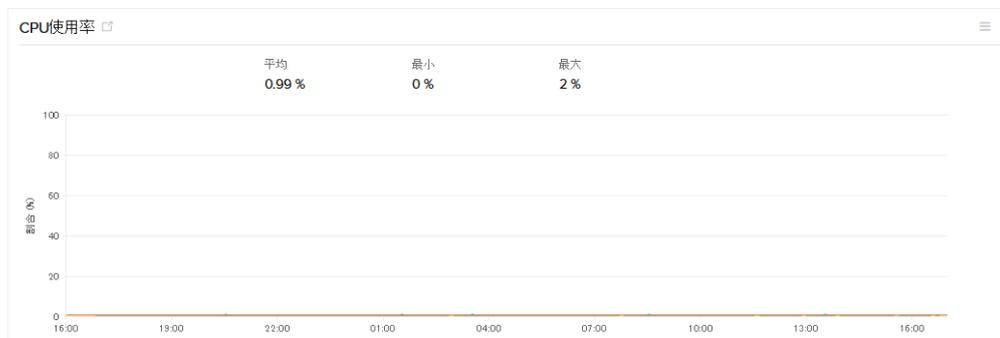
② RDSインスタンス

- イベントタイムライン



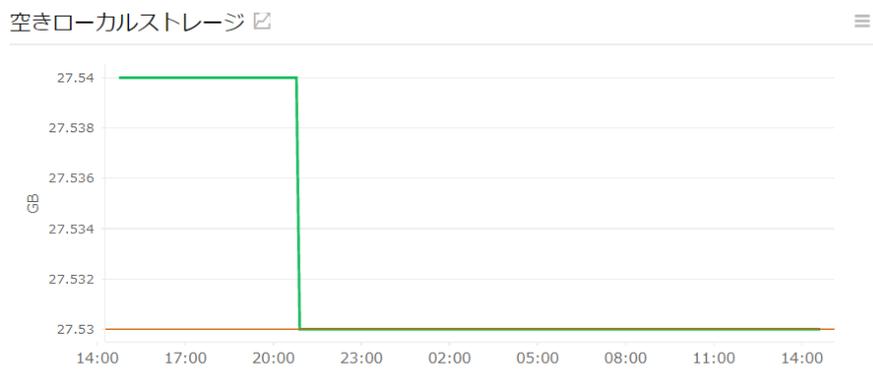
イベントタイムライン

- CPU使用率



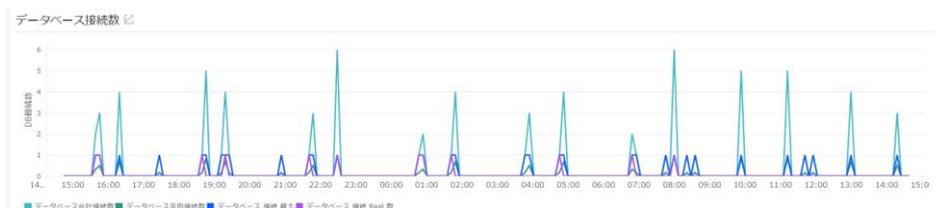
CPU使用率

- 空きローカルストレージ



空きローカルストレージ

- データベース接続数



データベース接続数

- ボリュームI/O操作



ボリュームI/O操作

- ・遅延



遅延

- ・スループット
- ・デッドロック
- ・トランザクション
- ・クエリ数
- ・解放できるメモリ
- ・バッファーク্যাッシュヒット率
- ・バイナリログディスク使用率
- ・ボリューム使用済みバイト
- ・スナップショットとバックアップストレージ
- ・Aurora レプリカアクティビティ
- ・エンジンアップタイム
- ・監視情報
- ・更新

5.5 APMインサイト監視の登録

APMインサイトではアプリケーションを監視しApdexスコア、平均応答時間、スループットを表示します。

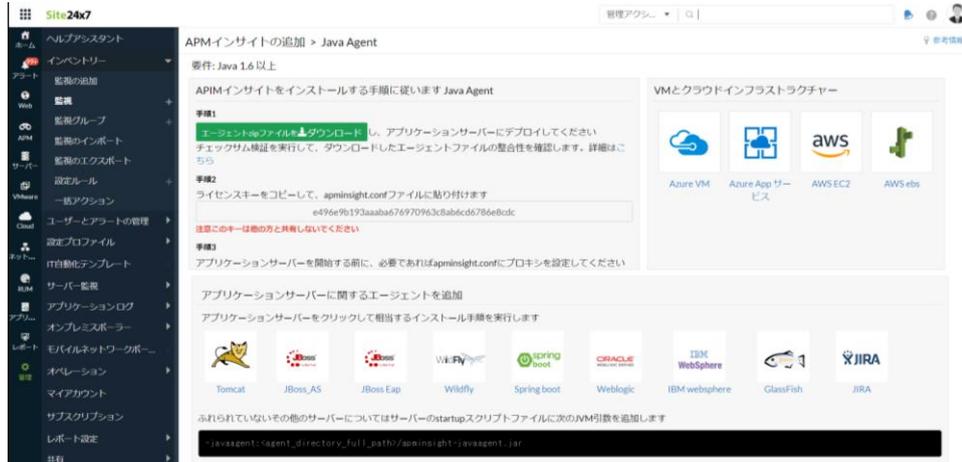
(1) APMインサイト監視を追加する際に必要な操作は以下の通りです。例としてJavaを対象に記載しています。

- ① [APM] タブから、[APMインサイト] の [アプリケーション] 横の+をクリックし、Java、.Net、.NET Core、Ruby、PHP Linux、PHP Windows、Node.js、Python から監視対象のアプリケーションの言語を選択しクリックします。



APM監視追加画面

- ② エージェントzipファイルをダウンロードをクリックして、最新のapminsight-javaagent.zipをダウンロードします。



APM監視追加画面

- ③ 監視対象のJavaアプリケーションが動作するサーバーで、apminsight-javaagent.zipを解凍します。
- ④ apminsight.confをテキストエディタで開き、次のパラメータを環境に合わせて変更します。
- license.key=ステップ②上のライセンスキーを入力
 - application.name=監視対象アプリケーション名
 - agent.server.port=8080 [監視対象アプリケーションのWebサーバーポート]

※必要な場合は以下プロキシの設定

```
proxy.server.host=proxyserver
proxy.server.port=proxyport
proxy.auth.username=proxyuser
proxy.auth.password=proxypassword
```

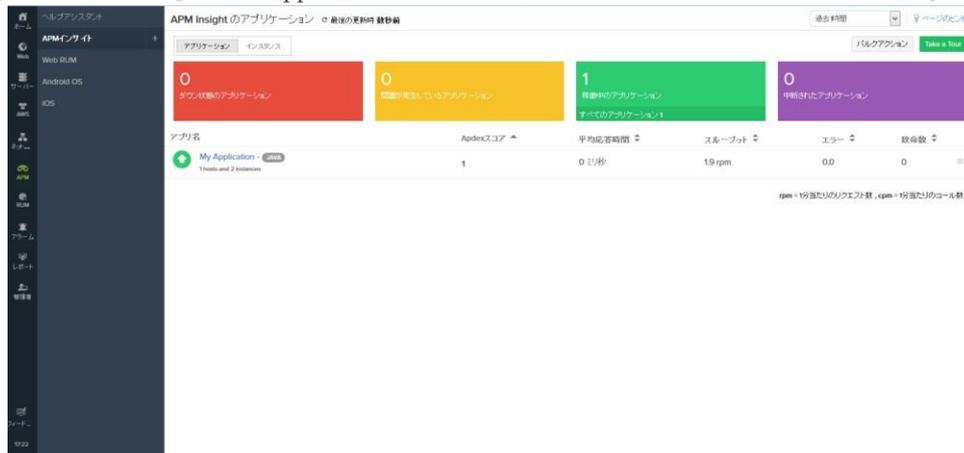
```
##### APM Insight Agent Configuration File #####
This file contains configuration options for APM Insight agent installation in your Application Server.
NOTE: Though the properties can be defined in any different order, it is advisable to maintain
the below order for related properties and ease of reference.
All the configuration options defaults to factory configuration if commented or not supported values.
IMPORTANT: To customize the agent configurations such as thresholds, enable/disable a feature
kindly login to Site24x7, Select the APM Insight instance and choose Edit option.
license_key_of_your_Site24x7_APM_Insight_account. ライセンスキー
license.key=
Logical name of your application. Say for example you have "Order Processing" applications running in
10 instances of Tomcat server. Specify the name as "Order Processing" for the name in all the 10
instances while deploying the agent. Site24x7 will group the data from 10 instances of
Tomcat and provide response time, throughput etc.
If JVM system property "apminsight.application.name" is set, this system property value will have preced
over the value set below.
application.name=My_Application. 表示名(デフォルト)
APM Insight agent communicates to the Site24x7 through the HTTP/HTTPS protocol.
Specify Proxy server configuration when there is a proxy server between APM Insight agent and
Site24x7 server.
behind.proxy=false
proxy.server.host=proxyserver
proxy.server.port=proxyport
proxy.auth.username=proxyuser
proxy.auth.password=proxypassword (必要な場合)プロキシの設定
Application Server HTTP/HTTPS listening port. Say for example when you are deploying the agent in Tomcat
Server running in 8080 port, specify the value as 8080.
agent.server.port=8080. 監視対象アプリケーションのWebサーバーポート(デフォルト)
Directory where agent logs information separately.
Defaults to the directory where apminsight-javaagent.jar is installed.
Use forward slash(/) as path separator.
apminsight.log.dir=./apminsight/loes
```

apminsight.conf

- ⑤ Java起動オプションに次のエントリを追加します。

-javaagent:<②で解凍したロケーションの絶対パス>/apminsight-javaagent.jar

- ⑥ 監視対象アプリケーションを再起動します。
⑦ [APMインサイト] タブにapplication.name で指定したアプリケーションが追加されます。



[APMインサイト] タブ

- (2) APMインサイト登録後に確認できる項目は以下の通りです。

・ Apdexスコア

Apdexは、アプリケーションのパフォーマンスに対するユーザー満足度の数値的尺度です。

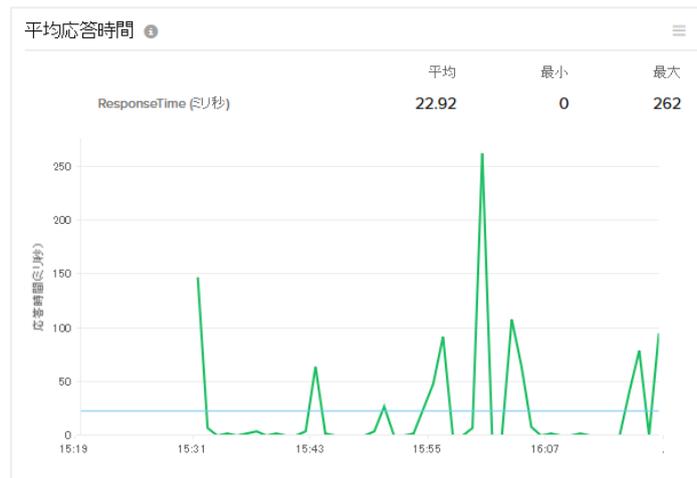


Apdexスコア

・ 平均応答時間

特定のトランザクションがユーザー要求に応答するまでの平均時間です。

監視のパフォーマンスをチェックするのに有効です。



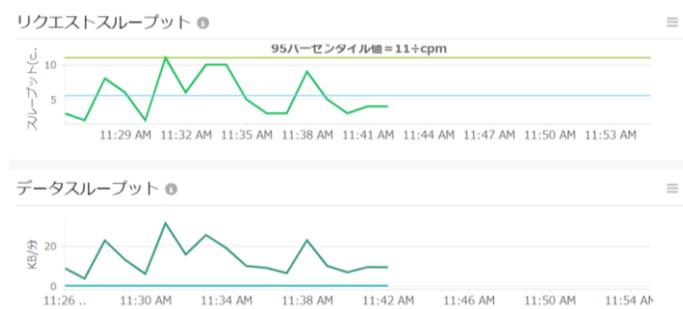
平均応答時間

- ・ブラウザの応答時間
- ・スループット (リクエストスループット、データスループット)

リクエストスループット：アプリケーションサーバーが受信した要求コールの総数 (cpm) です。

データスループット：ネットワークリクエストの送受信バイト (KB/分) です。

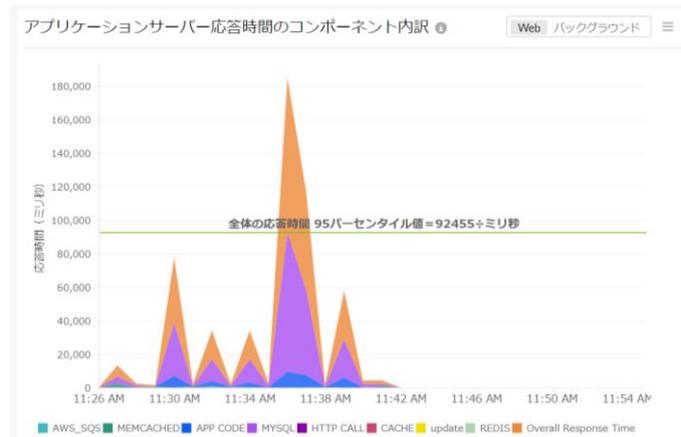
このデータで、アプリケーションサーバーのパフォーマンスを視覚化することで、今後の計画の参考にしていただくことが可能です。



スループット

- ・ブラウザコンポーネントの内訳
- ・アプリケーションサーバー応答時間のコンポーネント内訳

各コンポーネントのWebリクエストに要した時間を可視化し、どのコンポーネントで時間がかかっているかを識別します。

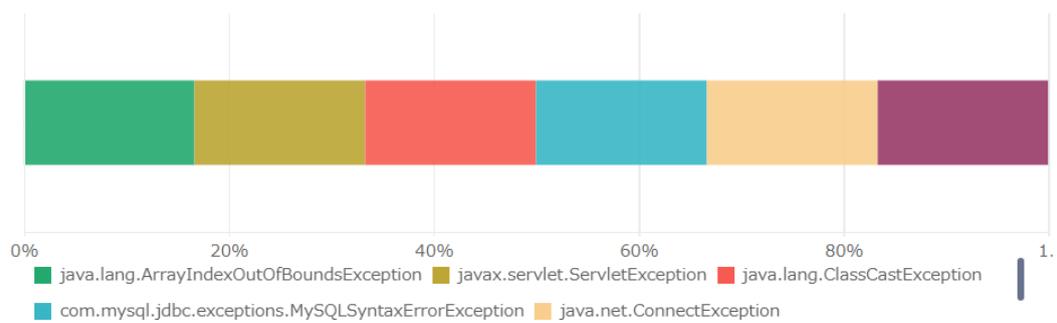


アプリケーションサーバー応答時間のコンポーネント内訳

- ・例外数
- ・例外の内訳

発生した例外の詳細とその内訳を表示します。

例外の内訳



例外の内訳

- ・HTTPエラー率

発生したHTTPエラーの比率です。



HTTPエラー率

- ・トップ5トランザクション：平均応答時間ごと
- ・トップ5スロートレース
- ・最新5例外
- ・最新のエラートランザクション5件

その他の監視項目は、[こちらのページ](#)をご確認ください。

5.6 ネットワーク監視の登録

オンプレミスポーラーをサーバーにインストールすることで、そのサーバーからSNMP経由でネットワーク機器を監視します。これにより、その機器やインターフェースのパフォーマンスを取得可能です。

(1) ネットワーク監視の登録方法は次のとおりです。

- ① [ネットワーク] タブより、ネットワーク装置項目の [+] をクリックします。
- ② オンプレミスポーラーを選択し、[次へ] をクリックします。オンプレミスポーラーをインストールしていない場合は、同画面の [新規オンプレミスポーラーの追加] からインストールを行ってください。
- ③ SNMP認証情報を選択し、[次へ] をクリックします。デフォルトではSNMPv1/v2が選択されています。
- ④ 検出対象機器のIPアドレスを指定し、[次へ] をクリックします。
個別または範囲指定が可能です。

ネットワークディスカバリー



1台の装置でも、ネットワーク全体でも、ディスカバリーと監視が可能です
ディスカバリーモードを選択し、詳細を入力ください

ディスカバリーモード 装置の追加 ネットワークの追加

ディスカバリータイプ IPアドレスレンジの使用 CIDRの使用

IPタイプ IPv4 IPv6

開始IP

終了IP

ネットマスク

タグ [タグの追加](#)

機器のディスカバリー

- ⑤ ディスカバリーする機器で検出したいインターフェースをフィルターし、[次へ] をクリックします。デフォルトではアップしているインターフェースのみ検出されます。
鉛筆アイコンから、検出条件の編集を行えます。
- ⑥ 設定内容を確認し、[ディスカバリーする] をクリックします。

(2) ネットワーク監視登録後に確認できる監視項目は次のとおりです。

- ・応答時間
- ・パケットロス
- ・装置の詳細
- ・ハードウェア詳細
- ・CPU使用率

- ・メモリ使用率
- ・インターフェース情報

登録したい機器の各インターフェース情報と、パフォーマンスを表示します。

インターフェース									
		しきい値の設定		帯域の設定		タグへの関連付け		一括サスペンド	
インターフェース名	タイプ	受信トラフィック (bps)	受信使用率 (%)	送信トラフィック (bps)	送信使用率 (%)	エラー (%)	廃棄 (%)	ステータス	アクション
...	...	2.22 K	0	1.41 K	0	0	0	●	≡
...	...	0	0	0	0	0	0	●	≡

インターフェース情報

- ・トラップ情報

機器から検出されたトラップ情報を表示します。

トラップ				
		トラップの追加		一括アクション
Trap Name	Message	Last Received At	ステータス	アクション
AuthenticationFailure	.1.3.6.1.4.1.9.2.1.5.0:192.168.200.138, .1.3.6.1.4.1.9.9.412.1.1.1.0:1, .1.3.6.1.4.1.9.9.412.1.1.2.0:192.168.200.138	Tue Jun 20 17:26:42 JST 2023	●	≡
snmp trap enable	-	-	-	≡
ColdStart	-	-	-	≡
WarmStart	-	-	-	≡

トラップ情報

その他監視項目は次のページをご確認ください。

<https://www.site24x7.jp/help/network-metrics/network-monitor.html>

6 障害管理の設定

アラートの設定を説明します。アラートを設定することにより、Site24x7に登録したアプリケーション、装置の障害情報の通知や、色分けによる状態把握を容易にします。

6.1 ロケーションプロファイル

ロケーションプロファイルにより監視元のロケーションを指定し、そのロケーションから対象を監視します。ロケーションプロファイルの追加手順は次のとおりです。

- ① [管理] タブより、「設定プロファイル」カテゴリ内の [ロケーションプロファイル] をクリックします。



ロケーションのプロファイル画面

- ② [ロケーションプロファイル] 横の [+] をクリックして、表示名を入力します。



ロケーションプロファイル画面

プライマリロケーション：監視に設定している監視チェック間隔に基づいて監視を行う拠点を1カ所指定します。

セカンダリロケーション：30分ごとに監視を行う拠点を複数指定します（間隔と拠点数はプランにより違いがあります）。

- ③ [保存] をクリックし、設定を保存します。

6.2 しきい値と可用性

しきい値と可用性プロファイルにより監視対象にしきい値を設定し、そのしきい値を超過した際にアラートを発生します。

しきい値と可用性プロファイルの追加手順は次のとおりです。

- ① 「管理」タブより、「設定プロファイル」カテゴリ内の「しきい値と可用性」をクリックします。



しきい値と可用性画面

- ② 「しきい値と可用性」横の「+」をクリックして、各項目を入力します。

しきい値プロファイルの追加 ×

監視タイプ Webサイト

表示名

ダウンタイムルール

監視をダウンと報告するまでの、最低確認ロケーション数です 3ロケーション

しきい値の設定

Webサイトのコンテンツが変化すれば、通知 はい いいえ

しきい値タイプ 静的しきい値 AIベースしきい値

Webサイトのコンテンツが、指定比率 (%) を超えて変化すれば、通知する

条件 > % トラブ...

Add クリティカル Threshold

プライマリー監視ロケーションの応答時間しきい値

条件 > ミリ秒 ボーリングの数 5 ボーリング値 通知 トラブ...

Add クリティカル Threshold

しきい値と可用性画面

- ③ 「保存」をクリックし、設定を保存します。

6.3 通知プロファイル

通知プロファイルにより障害発生時のアラート通知条件を指定します。

通知プロファイルの追加手順は次のとおりです。

- (1) 【管理】タブより、「設定プロファイル」カテゴリ内の【通知プロファイル】をクリックします。



通知プロファイル画面

- (2) 【通知プロファイル】横の【+】をクリックして、通知プロファイルを新規作成します。

通知プロファイル画面

- (3) 【保存】をクリックし、設定を保存します。

6.4 メールテンプレート

メールテンプレートにより、アラートメールの記載情報をカスタマイズします。
メールテンプレートの追加方法は次のとおりです。

- (1) 【管理】タブより、「設定プロファイル」カテゴリ内の【メールテンプレート】をクリックします。
- (2) 【メールテンプレート】横の【+】をクリックして、表示名、メール件名を入力後、コンテンツにメール本文に記載する情報を入力します。

メールテンプレートの追加

表示名

件名 \$MONITORNAME is \$STATUS

コンテンツ

タグ検索には「\$」を入力します

保存

メールテンプレート画面

- (3) [保存] をクリックし、設定を保存します。

7 レポートの設定

レポートの設定を説明します。Site24x7が計測したデータをまとめ、形式を指定して出力できます。

7.1 レポートの作成方法

レポートの作成手順は以下の通りです。

- (1) [レポート] タブをクリックします。
- (2) 左側のカテゴリーから、レポートで出力する監視タイプを選択します。



[レポート] タブ

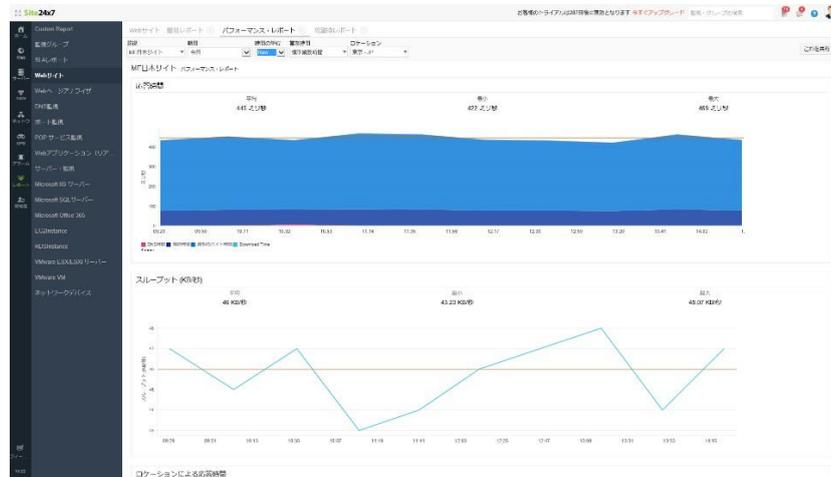
- (3) レポートのタイプを選択します。
- (4) 選択したレポートの上部ドロップダウンから、監視対象や表示期間などの各項目を選択します。

監視/タグ 期間 時間の単位 業務時間 アップタイムの計算で考慮するメンテナンス時間です

ManageEngine Kn... 今日 生データ いいえ 含める 除外

レポート種類タブ

- (5) 画面右上部の【共有】をクリックして、レポートを作成します。
生成したレポートは、PDF形式、CSV形式の出力、メール送信を行えます（レポートの種類により異なります）。



パフォーマンスレポート例

7.2 スケジュールレポート

レポートを自動で定期的作成し、メールで送信するスケジュールレポート機能の設定方法は以下の通りです。

- (1) 【レポート】タブから、スケジュールレポートとして出力したいレポートを選択します。
- (2) 画面右上の【共有】から【スケジュールレポート】をクリックします。
- (3) 定期作成するレポートの表示名を入力します。
- (4) レポートタイプを選択します。選択できるタイプはサマリレポート、ステータストレンドレポート、可用性サマリレポート、ビジネスタイムレポート、パフォーマンスレポート、SLAレポートなどがあります。
- (5) チェックボックスから、レポートを作成したい監視を選択します。
- (6) 必要に応じて業務時間を設定します。
- (7) 基準を入力して、監視パフォーマンスによる送信条件を指定することができます。
一部レポートタイプでは、基準項目が表示されません。
- (8) レポート形式をPDF、CSVから選択します。
※一部CSV出力に対応していないレポートタイプもございます。
- (9) レポートを作成する間隔を日次、週次、月次、四半期ごとから選択します。
※一部レポートタイプでは、一部の周期のみしか選択できません。
- (10) レポートの時間を選択します。
- (11) レポートの送付先を選択します。

スケジュールレポート

8 その他

Site24x7 で設定可能なその他の項目について説明します。

8.1 ユーザーの追加

Site24x7にログインするユーザーの作成、権限付与、ユーザーが使用可能な監視項目の管理ができます。ユーザーを作成する手順は以下の通りです。

- (1) [管理] タブから、[ユーザーとアラートの管理] カテゴリー内の [ユーザー&アラート] 横の [+] をクリックします。
- (2) 画面右上の [ユーザーの追加] をクリックします。
- (3) 連絡先名とメールアドレスを入力します。[ユーザーのロール] から、ユーザーの権限を選択します。権限ごとの役割は以下の通りです。
 - ①スーパー管理者：Site24x7アカウントへの完全なアクセス権を持ちます。
 - ②管理者：請求セクション以外のほとんどのモジュールに対して読み取り/書き込みアクセス権をもちます。
 - ③オペレーター：ほとんどのモジュールへの読み取り専用アクセス権限があります。メンテナンスのスケジュールへの読み書きアクセス権限があります
 - ④読み取り専用：そのアカウントへの読み取り専用アクセス権を持ちます。
 - ⑤請求連絡先：アップグレードおよび更新などの請求モジュールにのみアクセスすることができます。
 - ⑥代表者：すべてのモジュールへの読み取りアクセス権限があります。ユーザーにはダッシュボードに公のコメントを投稿する権限があります。
 - ⑦ホスティングプロバイダー：メンテナンスをスケジュールする権限を持ちます。
 - ⑧アラート連絡先 (Webクライアント以外)：Site24x7クライアント、APIにはアクセスできません。アラートおよびスケジュールレポートの通知のみ受け取れます。
- (4) [保存] をクリックし、設定を保存します。

ユーザーの追加



連絡先名

肩書

メール

携帯電話番号

ユーザーのロール

アクセス許可済み 監視グループ すべての監視

StatusIQユーザーロール

CloudSpendユーザーロール

SiteScanユーザーロール

ユーザーグループに関連付ける

通知メディア メール SMS 音声

アラート設定

保存

ユーザー追加

8.2 ユーザーアラートグループへの追加

ユーザーをグループ化し、通知を受信することができます。

- (1) [管理者] タブで [ユーザーとアラート管理] カテゴリーの [ユーザーアラートグループ] をクリックします。
- (2) ユーザーを追加したいグループをクリックします。
- (3) 属性アラートグループを関連付けます。デフォルトではすべての属性がアラート対象に指定されます。
- (4) 表示名と追加するユーザーを選択し、[保存] をクリックします。

ユーザーアラートグループの追加

表示名

プロダクト

ユーザーの追加

属性アラートグループの関連付け

アラートは、属性ごとのしきい値違反にもとづき、担当ユーザーに送信されます

保存

ユーザーアラートグループ追加

問い合わせ先

ゾーホージャパン株式会社 ManageEngine事業
〒220-0012
神奈川県横浜市西区みなとみらい三丁目 6 番 1 号
みなとみらいセンタービル 13 階

E-mail : jp-mesales@zohocorp.com

ホームページ : <https://www.site24x7.jp/>

問い合わせ窓口 : <https://www.site24x7.jp/contact-support.html>